

# 郡山市立学校

## ESD に基づく SDGs 実践事例集



郡山市教育委員会  
2025年3月

# 郡山市立学校 ESD に基づく SDGs 実践事例集 目次

## はじめに

ESD ってなあに？… 1

## 小学校編

|         |    |
|---------|----|
| 日和田小学校  | 3  |
| 高倉小学校   | 4  |
| 行健小学校   | 5  |
| 行健第二小学校 | 6  |
| 明健小学校   | 7  |
| 小泉小学校   | 8  |
| 行徳小学校   | 9  |
| 安積第一小学校 | 10 |
| 安積第二小学校 | 11 |
| 安積第三小学校 | 12 |
| 永盛小学校   | 13 |
| 柴宮小学校   | 14 |
| 穂積小学校   | 15 |
| 三和小学校   | 16 |
| 多田野小学校  | 17 |
| 河内小学校   | 18 |
| 片平小学校   | 19 |
| 喜久田小学校  | 20 |
| 熱海小学校   | 21 |
| 安子島小学校  | 22 |
| 守山小学校   | 23 |
| 御代田小学校  | 24 |
| 高瀬小学校   | 25 |
| 谷田川小学校  | 26 |
| 金透小学校   | 27 |
| 芳山小学校   | 28 |
| 橘小学校    | 29 |
| 小原田小学校  | 30 |
| 開成小学校   | 31 |
| 芳賀小学校   | 32 |
| 桃見台小学校  | 33 |
| 赤木小学校   | 34 |
| 薫小学校    | 35 |
| 富田小学校   | 36 |

|          |    |
|----------|----|
| 富田東小学校   | 37 |
| 富田西小学校   | 38 |
| 大槻小学校    | 39 |
| 白岩小学校    | 40 |
| 東芳小学校    | 41 |
| 桜小学校     | 42 |
| 桑野小学校    | 43 |
| 大島小学校    | 44 |
| 緑ヶ丘第一小学校 | 45 |
| 小山田小学校   | 46 |
| 大成小学校    | 47 |
| 朝日が丘小学校  | 48 |
| 宮城小学校    | 49 |
| 海老根小学校   | 50 |
| 御館小学校    | 51 |

## 中学校編

|         |    |
|---------|----|
| 日和田中学校  | 52 |
| 行健中学校   | 53 |
| 明健中学校   | 54 |
| 安積中学校   | 55 |
| 安積第二中学校 | 56 |
| 三穂田中学校  | 57 |
| 逢瀬中学校   | 58 |
| 片平中学校   | 59 |
| 喜久田中学校  | 60 |
| 熱海中学校   | 61 |
| 守山中学校   | 62 |
| 高瀬中学校   | 63 |
| 郡山第一中学校 | 64 |
| 郡山第二中学校 | 65 |
| 郡山第三中学校 | 66 |
| 郡山第四中学校 | 67 |
| 郡山第五中学校 | 68 |
| 郡山第六中学校 | 69 |
| 郡山第七中学校 | 70 |
| 緑ヶ丘中学校  | 71 |
| 富田中学校   | 72 |
| 大槻中学校   | 73 |
| 小原田中学校  | 74 |
| 宮城中学校   | 75 |
| 御館中学校   | 76 |

## 義務教育学校編

|        |    |
|--------|----|
| 西田学園   | 77 |
| 湖南小中学校 | 78 |



教えて！はぐくん！

# ESD ってなあに？

ぼくは、環境省 ESD キャラクター  
「はぐくん」(文部科学省コラボバージョン)だよ！



ねえねえ、はぐくん。郡山市では、令和6(2024)年度から学校教育推進構想に「ESDの推進」が位置付けられたけれど、今まで教育課程にも位置付けて取り組んできたSDGsと何が違うのかな。



お困りのようだね、がくとくん。

ESDはEducation for Sustainable Developmentの略だよ。

今、世界には気候変動、生物多様性の喪失、資源の枯渇、貧困の拡大といった、人類の開発活動に起因する様々な問題があるよね。ESDとは、これらの問題を自らの問題として主体的に捉え、人類が将来の世代にわたり恵み豊かな生活を確保できるよう、身近なところから取り組む(think globally, act locally)ことで、問題の解決につながる新たな価値観や行動等の変容によって、持続可能な社会を実現していくことを目指して行う学習・教育活動のことだよ。

つまり、ESDは持続可能な社会の創り手を育む教育のことなんだよ。

そうなんだ！SDGsが「持続可能な開発目標」だから、ESDは「SDGsの実現に向けた持続可能な社会の創り手を育む教育」ってことだね。



そのとおり！ESDは、SDGsの実現に向けて、子どもたちが新たな価値観をもち、身近なところから行動につなげることが大切なんだ。

郡山市立学校では、令和元(2019)年から、各学校が14の持続可能な開発目標(SDGs)に基づいた教育を教育課程に位置付けて実践し、子どもたちが学びを行動につなげてきたから、今まで実施してきたSDGsの実現に向けた教育活動を、ESDとして捉え直してみよう。



そうか！！

今まで全ての郡山市立学校で行っていたSDGsの実現に向けた教育活動が、ESDってことなんだね！



ESDを通して、郡山市の子どもたちが、学びを活かし、様々な問題を「自分の問題」として行動する「実践する力」を身に付け、持続可能な社会の創り手に成長して欲しいね。





教えて！はぐくん！

# ESD ってなあに？



ぼくは、<sup>かんきょうしょう</sup>環境省ESDキャラクター  
「はぐくん」(<sup>もんぶがくしやう</sup>文部科学省コラボバージョン)だよ！

ねえねえ、はぐくん。<sup>さいきん</sup>最近よく<sup>がっこう</sup>ニュースや学校でESDって<sup>ことば</sup>いう言葉を<sup>き</sup>聞くんた。SDGsと、<sup>なに</sup>にているみたいなんだけど、何がちがうのかな。



おこまりのようだね、がくとくん。

いま、<sup>せかい</sup>世界では<sup>きこう</sup>気候が<sup>へんどう</sup>変動したり、<sup>せいたいけい</sup>生態系がくずれてしまったり、<sup>ひとびと</sup>まずしい人々が<sup>もんだい</sup>ふえていたり、<sup>もんだい</sup>といった問題があるよね。

ESDは、<sup>もんだい</sup>これらの問題を<sup>じぶん</sup>自分のこととして<sup>かんが</sup>考えて、<sup>せかい</sup>世界のみんが<sup>みらい</sup>未来も<sup>ゆた</sup>ずっと<sup>せいかつ</sup>豊かな<sup>おく</sup>生活を送ることができるよう<sup>かんが</sup>に<sup>みちか</sup>考え、<sup>こうどう</sup>身近なところ<sup>じぞくかのう</sup>から<sup>しゃかい</sup>行動して、<sup>じぞくかのう</sup>持続可能な<sup>しゃかい</sup>社会をつくることをめざすことだよ。

そうなんだ！SDGsは<sup>じぞくかのう</sup>「持続可能な<sup>かいはつもくひょう</sup>開発目標」だから、  
ESDは<sup>じつげん</sup>「SDGsの実現に向けた<sup>じぞくかのう</sup>持続可能な<sup>しゃかい</sup>社会の<sup>つく</sup>創り手」になるための<sup>がくしゅう</sup>学習ってことだね。



そのとおり！ESDでは、SDGs17の<sup>む</sup>ゴールに向かって、<sup>まな</sup>学んだことをもとに<sup>じぶん</sup>自分の<sup>かんが</sup>考えをもち、<sup>みちか</sup>身近なところから<sup>こうどう</sup>行動につなげることが<sup>たいせつ</sup>大切なんだ。

そうか！！  
ぼくたちが、SDGs17の<sup>む</sup>ゴールに向かって、<sup>がくしゅう</sup>学習したことを<sup>い</sup>活かして<sup>はっぴょう</sup>発表したり、<sup>こうどう</sup>行動を<sup>よ</sup>呼びかけたりしていたことが、ESDってことなんだね！





がくとくんも、ESDを通して、<sup>と</sup>学んだことを<sup>まな</sup>活かし、<sup>い</sup>世界中<sup>せかいじゅう</sup>で<sup>お</sup>起きて<sup>さまざま</sup>いる<sup>もんだい</sup>様々な<sup>じぶん</sup>問題を「<sup>もんだい</sup>自分の<sup>もんだい</sup>問題」として<sup>こうどう</sup>行動する<sup>ちから</sup>力を<sup>み</sup>身に<sup>つ</sup>付けて、<sup>じぞくかのう</sup>持続可能な<sup>しゃかい</sup>社会の<sup>つく</sup>創り手<sup>て</sup>に<sup>せいちょう</sup>成長して<sup>い</sup>ってね！



持続可能な社会づくりを郡山市から！ 学びを行動につなげよう！

# ごみから考えるわたしたちの暮らし

郡山市立日和田小学校 第4学年 社会科・総合的な学習の時間

| 基本データ   | テーマ・活動のねらい 等  |
|---|---|
| 関連する SDGs の目標：<br>  | <b>【テーマ】</b><br>ごみから考えるわたしたちの暮らし<br><b>【活動のねらい】</b><br>郡山市のごみの処理の状況を知り、ごみ処理について様々な観点から理解を深める。また、自分たちの生活の仕方を見直し、自分たちでこれから取り組むべきことを考え、計画する能力や態度の育成を目指す。 |

## 取組・活動の概要

### 1 清掃センターを見学し、郡山市のごみの現状を知る。

富久山クリーンセンターを見学。郡山のごみ排出量がかかなり多いことや、それに伴いごみ処理のための費用が年間40億円もかかっていることを知る。他県のごみ排出量を調べたり、自分たちができることを考えたりとグループに分かれて学習計画を立てた。

### 2 郡山のごみをめぐる課題について考える。



グループに分かれ、テーマを考え調べ学習をした。他県のごみ排出量を調べたり、自分たちでできることを考えたりと、学習計画を立てて具体物を作ったり新聞にまとめたりした。



### 3 自分たちができること・考えたことを実行する。

自分たちでできることとして、紙類のリサイクルやプラスチックごみの削減などを提唱し、新聞にまとめて掲示することで、他学年にも啓蒙を図った。具体的には、習字の紙を廃棄せずにとめておいてリサイクルしたり、ペットボトルを使った工作を考えたりと現在も実行している。5年生は、ペットボトルキャップ集めをしてワクチンに交換してもらう活動を始めなど、学校全体でごみ削減に向かって活動をしている。



## 学びが行動につながったポイント

- ① 施設見学や授業で分かった課題を自分達の課題としてとらえ、実践することができた。
- ② 児童が学んだことをもとに、さらに学びを深め、まとめることができた。







持続可能な社会づくりを郡山市から！ 学びを行動につなげよう！

実践例 02

## ごみの処理と利用

郡山市立高倉小学校 第4学年 社会科

| 基本データ   | テーマ・活動のねらい 等  |
|---|---|
| 関連する SDGs の目標：<br><br>  | <b>【テーマ】</b><br>ごみをへらすために、自分たちにできることを考えよう。<br><br><b>【活動のねらい】</b><br>地域社会の一員として、ごみの処理に関わって自分たちのできることを考え、ごみの減量や資源の再利用などの取り組みに協力しようとする能力や態度の育成を目指す。 |

### 取組・活動の概要

1 郡山市のごみの処理の仕方について学習し、今後のごみの問題について関心をもつ。

社会科「ごみの処理と利用」で、郡山市のごみの現状について学習した。ゴミの収集方法、処理の仕方、分別など地域によって違いがあることや問題点に気づき、ごみの処理についての大変さを理解した。また、身近な問題となっていることに気づき、関心をもつようになった。



2 ごみ処理の問題点について関心をもつ。

ふるさと郡山やインターネット等を活用し、ごみ問題の解決策について調べた。

郡山市は、東日本大震災以後、焼却ごみの量が増え、全市をあげてごみ減量化に取り組んでいることが理解できた。郡山市の清掃センターは、設備が優れているため熱効率や二酸化炭素排出においても優秀だが、量的な問題を克服しなければならないことも分かった。そのため5R運動など自分たちにもできる対策があることに強い興味をもった。



3 ごみ問題において、自分たちができることを考える。

ここまで学んできたことをもとに、児童一人一人がごみ処理についてテーマをもって学習のまとめを行った。それを土曜参観のなかで保護者に発表した。

また、PTA主催の資源物回収に自ら積極的に参加することもできた。



### 学びが行動につながったポイント

- ① 他市町村の現状と、本市のゴミの収集方法、処理の仕方、分別など地域によって違いがあることや問題点に気づくことができた。
- ② ここまで学んできたことを土曜参観で保護者に発表し、課題意識をもってPTA主催の資源物回収に自ら積極的に参加することができた。











持続可能な社会づくりを郡山市から！ 学びを行動につなげよう！

実践例 03

# わたしたちの生活とSDGs

郡山市立行健小学校 第5学年 総合的な学習の時間

| 基本データ  | テーマ・活動のねらい 等   |
|--|--|
| 関連するSDGsの目標：<br>  <br>   | <b>【テーマ】</b><br>わたしたちの生活とSDGs<br><b>【活動のねらい】</b><br>SDGsの17の目標について知り、わたしたちの町、郡山市の取り組みについて調べる。さらに、行健小の地元である富久山町周辺の企業を見学させていただき、SDGsの取り組みについてまとめ、グループに分かれて発表を行う。 |

## 取組・活動の概要

### 1 「ヨークベニマル富久山店」の取り組みについてまとめる。

- ヨークベニマル富久山店のSDGsへの取り組みについて見学し調べた。
- 商品が無駄にしないように、「フードドライブ」を行い、子ども食堂や支援施設に寄付している。
  - 食品トレーをリサイクルしている。再利用したり、ベンチに生まれ変わったりしている。(限りある資源を節約することができ、CO<sub>2</sub>排出量を抑えることができる。)



### 2 「日東紡績株式会社」の取り組みについてまとめる。

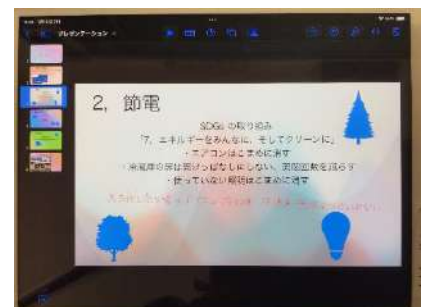


日東紡のSDGsへの取り組みについて見学し調べた。まず、日東紡では、グラスファイバーなどの製品の製造、加工および販売を行っている。(東京ドーム球場の天井、体外診断用医薬品、スマートフォンの部品など)

- ソーラーパネルを使って電気をたくさん作りCO<sub>2</sub>を減らす取り組みをしている。(ソーラーパネル28万㎡、行健小の校庭の5倍の面積)
- 敷地内では、CO<sub>2</sub>を排出しない電気自動車を使用している。
- コージェネレーションシステムで、電気と熱でエネルギーを効率的に使用している。

### 3 「Vチェーン」の取り組みについてまとめる。

- VチェーンのSDGsへの取り組みについて見学し調べた。
- 募金箱(ユニセフ)を設置し、地域で大きな災害が起きた時に役立つ。
  - 節電に心がけ、エアコンはこまめに電源を切らず、冷蔵庫の開閉回数を減らす。また、使っていない照明は、こまめに消すようにしている。
  - 資源の有効活用として、食品の廃棄を減らし、用紙は、再生紙を使うようにしている。



## 学びが行動につながったポイント

- ① 学級では、ごみの処分の分別(燃えるごみ・プラスチック)を工夫することができた。
- ② 自分たちが今できることを学校や家庭内で取り組むことができた。







持続可能な社会づくりを郡山市から！ 学びを行動につなげよう！

実践例 04

## 見つめよう「食と命」～人と米との関わりを通して～

郡山市立行健第二小学校 第5学年 総合的な学習の時間

| 基本データ   | テーマ・活動のねらい 等   |
|---|--|
| 関連する SDGs の目標：<br>  | <b>【テーマ】</b><br>見つめよう「食と命」～人と米との関わりを通して～<br><b>【活動のねらい】</b><br>食品ロスの原因や食品ロスの問題と世界の課題とつながり、自分自身の関わりについて考える活動を通して、課題解決のためにできることを考え、これからの生活に生かしていこうとする意欲を高める。 |

### 取組・活動の概要

#### 1 米作り体験活動を通して、自分と米の関わりについて考える。

地域の農家の方々に協力をいただき、田植えから収穫までの全工程を体験した。米ができるまでの手間や時間を体感することで、普段当たり前食べているお米や食べ物への感謝の気持ちを深めることができた。



#### 2 食品ロスの原因や自分自身の関わりについて考える。



給食で出た野菜の皮を使った草木染め体験を行った。この体験は、食品ロスについて考えを深めるきっかけになるものであった。食品ロスを減らすためにどのような取り組みができるのか、「個人でできること」「集団でできること」「実現できる」「実現は難しい」の視点で座標軸を活用して考えることができた。

#### 3 食品ロス問題を解決するために自分たちができることについて考えをまとめ、行動する。

実現可能な取り組みについて、「誰に、何を、どんな方法で伝えるか」についてマトリクスを活用してグループで話し合った。学校の残菜量を全校生に知ってもらうためにポスターや放送劇にまとめ、全校生に発信した。また、これまでの学びを授業参観で保護者に発表した。今後は、地域の公民館に自作のポスターを掲示してもらう予定である。

| 目標はまる<br>◎はめまる<br>△は難しい | 実現可能 | 許可 | 多くの人に<br>関わらせる | 学校以外に<br>関わる | 5年以上の<br>期間 |
|-------------------------|------|----|----------------|--------------|-------------|
| ポスター                    | ◎    | ◎  | ◎              | ◎            | ◎           |
| 集金                      | ◎    | ◎  | ◎              | ◎            | ◎           |
| 放送劇                     | △    | △  | ◎              | ◎            | ◎           |
| 全学年                     | ◎    | ◎  | ◎              | ◎            | ◎           |
| おたより                    | ◎    | ◎  | ◎              | ◎            | ◎           |

### 学びが行動につながったポイント

- ① 実現可能な取り組みを考えることで、自分事として課題を捉えることができた。
- ② ICT を積極的に活用し、より多くの人に自分たちの思いを発信することができた。











## 実践例 05

持続可能な社会づくりを郡山市から！ 学びを行動につなげよう！

# やさしさは力～福祉について考えよう～

郡山市立明健小学校 第5学年 総合的な学習の時間

| 基本データ  | テーマ・活動のねらい 等   |
|--|--|
| 関連する SDGs の目標：<br> <br>  | <b>【テーマ】</b><br>やさしさは力 ～福祉について考えよう～<br><b>【活動のねらい】</b><br>社会には様々な方が生活していることを知り、すべての人の well-being のために、自分たちでこれから取り組むべきことを考え、計画する能力や態度の育成を目指す。 |

## 取組・活動の概要

### 1 福祉について理解を深めよう。

郡山市社会福祉協議会の皆様をお招きし、「『福祉』とはなんだろう」というテーマについて講話をいただき、理解を深めることができた。「福祉」は特別なことではなく、私たちの周りに存在するすべてのこと、みんなが幸せになるだということを知り、今後の学習の計画を立てることができた。



### 2 車椅子バスケットボールを体験しよう。

市文化スポーツ振興課のご協力のもと、車いすバスケットボール選手3名をお招きし、車いすバスケットボールを体験した。

初めて触れる車いす操作に苦慮していた児童たちも、適切なアドバイスによってゲームを楽しめるようになり、スポーツの楽しさを味わった。工夫された道具とルールによって、障害の有無に関わらず、誰でも一緒に楽しむことができることを実感できた。

### 3 高齢者体験をしよう。

郡山市社会福祉協議会の皆様をお招きし、「ブラインドウォーク」や「高齢者体験」を行った。装具を着けたことで関節が自由に動かなくなったり、視野が狭くなったりすることで、体が自由に動かさず、不便な体験をすることができた。高齢者や障害者にとって、日常の行動がいかに不便で不安を伴うかを実感することができた。活動を通して、小さな気遣いや心配り、支援（サポート）の大切さを感じることができた。



## 学びが行動につながったポイント

- ① 障害者や高齢者も含めた社会全体の well-being について考え、自分なりの考えをもつことができた。
- ② 自らが学んだことを、授業参観や掲示等で、積極的に発信することができた。










持続可能な社会づくりを郡山市から！ 学びを行動につなげよう！

実践例06

未来を変えるSDGs～小さな努力は僕たちのためになる～

郡山市立小泉小学校 第5・6学年 総合的な学習の時間

| 基本データ  | テーマ・活動のねらい 等   |
|--|--|
| 関連するSDGsの目標：<br>  <br>  | <b>【テーマ】</b><br>未来を変えるSDGs～小さな努力は僕たちのためになる～<br><b>【活動のねらい】</b><br>日々の学校生活から、SDGsに目を向け、理解を深める。自分たちの生活がさらによりよくなるための課題を考え、改善するために情報収集や分析、実践する能力の育成をめざす。 |

取組・活動の概要

1 SDGsについて知り、自分たちの課題を考える。

総合的な学習の時間で、学校の至る箇所に掲示してあるSDGsのロゴについて調べ、SDGsが目指す意味を理解した。その後、学校生活の中で課題を考え、5グループに分かれて取り組んでいくことになった。

2 それぞれのグループで学校の課題を明確にし、計画を立てる。

| 番号 | 課題                                      | 解決方法                                      |
|----|---|---|
| 3  | 児童の体力テストで柔軟性が低いこと                       | 柔軟性を高めるものの情報収集。ポスター作成。                    |
| 6  | 手洗いの時、水を無駄に使っていること                      | 水の使用量について調査。無駄にしない方法について情報収集。ポスター作成。      |
| 7  | 誰もいない教室で電気がついていたり、エアコンがついているのに戸が開いていること | 学校の電気使用量の調査。明るさの調査。電気を節約するための情報収集。ポスター作成。 |
| 12 | ゴミになるものを少しでも減らすこと                       | 牛乳パックで学校のキャラクターの制作。牛乳パックのリサイクル。           |
| 15 | ごみを少なくして、緑を増やすこと                        | ごみの量調査。緑を増やすための情報収集と実践ポスター作成。牛乳パックで植物栽培。  |

3 調べ学習・実践・まとめをする。

- 各グループで実際に計測したり、体験したりして、現状を把握した。
- その後、インターネットや図書、データなどから課題を解決するための情報を収集した。
- 収集した情報から自分たちが実践できそうなものを選び、ロイロノートを使ってまとめた。
- 学習の中間報告を小泉フェスタ(学習発表会)で発表した。また、ポスターや制作したものを展示したり、ホームページに掲載したりして学習を発信した。
- 現在、牛乳パックのリサイクルや植物栽培は継続的に実施している。



学びが行動につながったポイント

- ① 普段の生活に目を向け、自分たちで改善できそうな身近な課題にしばったこと。
- ② まとめたことを学校行事で多くの人や外部に発信するために、より良い方法について考えたこと。
- ③ 実践したことが形となって視覚的に捉えられたこと、さらに達成感が次の行動につながったこと。






# 実践例 07

持続可能な社会づくりを郡山市から！学びを行動につなげよう！

## 環境守り隊～わたしたちにできること～

郡山市立行徳小学校 第5学年 総合的な学習の時間

|   |   |
|---|---|
| 基本データ   | テーマ・活動のねらい 等  |
| <p>関連する SDGs の目標：</p>  | <p>【テーマ】<br/>環境について考えよう</p> <p>【活動のねらい】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 身近な自然生物や作物は周辺の環境と関わっており、それは人々の努力や工夫によって守られていることがわかる。</li> <li>○ 身近な環境から課題を設定し、その解決に向けて必要な情報を集め、事象を比較したり関連付けたりして考えることができる。</li> <li>○ 多様な表現方法を知り、それぞれのよさにふれながら、内容を工夫して新聞等にまとめることができる。</li> <li>○ 持続可能な将来のために自分ができる環境保全について考え、取り組もうとする。</li> </ul> |

### 【取組・活動の概要】

#### 1 環境守り隊～身近な環境問題～

- ① 地球に起こっている環境問題を探し課題を持つ。
- ② 自分の課題を基に調べる計画を立てて調べる。
  - ・食品ロス ・森林破壊 ・ゲリラ豪雨 ・池（ため池）汚染
  - ・地球温暖化 ・ごみ問題 ・再生可能エネルギーについてなど
- ③ 調べたことを発表する。
  - ロイロノートにまとめたものを参観日にワークショップ形式で発表し合うことができた。



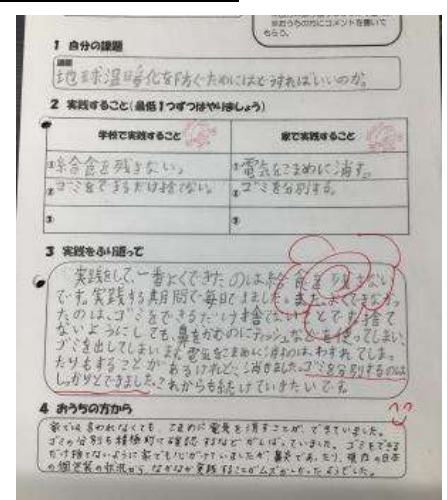
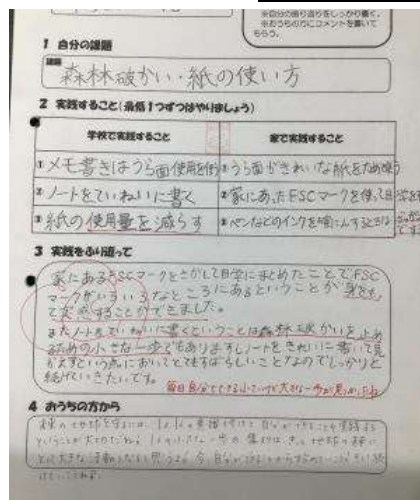
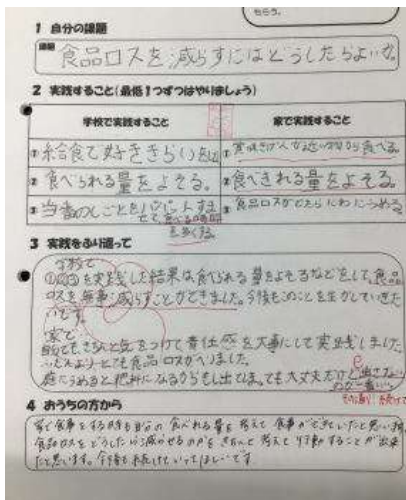
#### 2 環境守り隊～自然体験～

- ① 自然とふれ合おう。→宿泊学習「いわき海浜自然の家」
  - ・海の中でボディボード ・キャンドルファイヤー
  - ・アクアマリンふくしま見学
- ② バケツ稲づくり。 →田植え・水やり・稲刈り・脱穀



#### 3 環境守り隊～わたしたちにできること～

- ① 自分たちにできることを考える。
- ② 課題解決のための計画を立てて実践する。 ◎ 各家庭で進んで取り組めた。



### 学びが行動につながったポイント

- ① 地球温暖化等の世界規模の課題と地域の課題を自分事として考えることができた。
- ② 学んだことを参観日で発信し、地域・家族ぐるみで実践することができた。









持続可能な社会づくりを郡山市から！ 学びを行動につなげよう！

実践例 08

# SDGs 調査隊

郡山市立安積第一小学校 第5学年 総合的な学習の時間

| 基本データ  | テーマ・活動のねらい 等  |
|--|---|
| 関連する SDGs の目標：<br> <br>  | <b>【テーマ】</b><br>SDGs 調査隊<br><b>【活動のねらい】</b><br>「SDGs とは？」の学習を経て、身の回りにある課題を選択し、調査・啓蒙活動をすることにより、SDGs に対する意識・意欲を高めることができる。 |

## 取組・活動の概要

### 1 調査・探究活動

- SDGs 17 の目標の中から、児童が自分の興味に基づいて1つの目標をテーマとして選択し、個人または小グループで調査活動を行った。
- 学校図書館の図書資料やネット検索により、各目標のターゲットを調べたり、生活の中で自分たちにもできることを考えたりした。



### 2 まとめ・表現活動



- 調査したことは、ロイロノートを使ってプレゼンテーションができる形にまとめた。発表会での情報交換を前提とすることで、目的意識をもってまとめることができた。
- 自分のクラス以外の5年生に向けての発表会をすることで相手意識が高まり、自分たちの活動をさらに広めようとするきっかけになった。

### 3 情報の発信

- 全校生に SDGs を意識した生活の必要性を知らせるために、情報の発信を行った。
- SDGs のポスターを作り、全校生に見てもらうことができた。特に、SDGs の意味と節電や節水、給食の食品ロスを減らすことに焦点をあて、全校生に取り組んでもらえるように内容を工夫した。
- SDGs すごろくやカルタを作り、遊びながら SDGs の理解を深められるようにした。
- 委員会活動での取り組みにも広がり、エコ委員会では校内で必要のない電気を消すことを呼びかける放送を行っている。

| 月日   | 曜 | 活動内容          | ◎よくてきた  | ○まあまあ | △もう少し | ◎ |
|------|---|---------------|---|-------|-------|---|
| 10/1 | 土 | 発表で使うスライドを作ろう | 今日もスライド作りの練習をしました。やはり紙が1枚たりずいぶん大変に思いました。スライドがほとんどなくなりました。スライドがほとんどなくなりました。スライドがほとんどなくなりました。 |       |       | ◎ |
| 10/3 | 日 | 発表で使うスライドを作ろう | スライドがほとんどなくなりました。スライドがほとんどなくなりました。スライドがほとんどなくなりました。   |       |       | ◎ |
| 10/4 | 月 | 発表で使うスライドを作ろう | 友達のスライドを少し見せてもらって自分のスライドを直したりしました。今日の   |       |       | ◎ |

## 学びが行動につながったポイント

- ① SDGs の理解が深まったことで、他教科等との横断的な学習に発展させることができた。特に、国語科では「グラフや表を用いて書こう」「あなたは、どう考える」の単元で、SDGs での学びを生かした文章を書く児童が多く見られた。
- ② 現在の学校生活でも、手洗い中に水を止めること、ろう下やトイレの照明をこまめに消すこと、給食を残さず食べることなど、自分たちができることを実践している。






持続可能な社会づくりを郡山市から！ 学びを行動につなげよう！

実践例 09

# SDGs を広げよう ~提案する文章を書こう~

郡山市立安積第二小学校 第6学年 国語科

| 基本データ  | テーマ・活動のねらい 等   |
|--|--|
| 関連する SDGs の目標 :<br><br>他『17の目標』 | <b>【テーマ】</b><br>SDGs を広げよう~提案する文章を書こう~<br><b>【活動のねらい】</b><br>6 学年国語科「構成を考えて、提案する文章を書こう」の学習を通して、SDGs についての理解を深め、自分達にできることを主体的に考えて提案する力を身に付ける。 |

## 取組・活動の概要

### 1 SDGs について学ぶ。

17の目標について、それぞれの目標が目指す社会について知り、自分達の暮らしと結び付け、課題や問題点を話し合った。その後、自分の興味のある SDGs の項目を1つ選び、学校図書館やインターネットを活用して、どんな具体的な解決方法があるかを調べた。

### 2 調べた内容をレポートにまとめ、自分の考えを発信する。

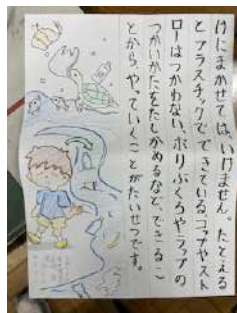
17の目標のそれぞれについて、わかったことや考えたことをレポート形式にまとめ、互いに読み合ったり、上学年フロアに掲示し、他学年に発信したりした。

『目標11：住み続けられるまちづくり』安全で住みやすい街づくりをするために、どんな課題があるのだろうか。日本の他、世界にはどんな課題があるのだろうか。

『目標14：海の豊かさを守ろう』海がゴミなどで汚されたり、地球温暖化で状況が悪化したりしている。自分達にできることは何かなど、自分事として捉えさせることで、考えを深めることができた。



### 3 下級生に SDGs について発表し、共に行動しようと呼びかける。



1年生教室を訪問し、『目標11 住み続けられるまちづくり』『目標12 つくる責任 つかう責任』について説明した。1年生でも分かりやすいようにポスターを作成したり、JRC委員会で集めたエコキャップを使って『こま』を作り、リサイクルの仕組みを伝えたりして、SDGs の取り組みへの協力を呼びかけた。その後、エコキャップごまで一しょに遊び、プレゼントしたことで1年生も SDGs への興味・関心を高めることができた。

## 学びが行動につながったポイント

- ① 多くの児童が SDGs の各項目について理解を深め、自分達にできることを具体的な行動として提案できるようになった。
- ② 1年生に向けて SDGs について発表したり、学んだことをもとに具体的な活動例を発信したりすることができた。







持続可能な社会づくりを郡山市から！ 学びを行動につなげよう！

実践例 10

# 将来の自分について考えよう

郡山市立安積第三小学校 第6学年 総合的な学習の時間

| 基本データ   | テーマ・活動のねらい 等   |
|---|--|
| 関連する SDGs の目標：<br>  | <b>【テーマ】</b><br>ぼくたち・私たちの未来に向かって<br><b>【活動のねらい】</b><br>調べ学習を通して人と地域社会との関わりを知り、自分の思いを内容や目的に合った方法で表すことができる。また、自分の興味・関心から進んで課題を見つけ出し、解決方法を追求しようとする態度を育てる。 |

## 取組・活動の概要

### 1 「Edu Town あしたね」を活用して職業調べをする。

キャリア教育として自分の将来の職業について考えるにあたり、「Edu Town あしたね」を活用した。児童の得意なことや好きなことに合わせておすすめの職業が提示され、普段の生活の中では関わるできない数多くの職業について知ることができ、児童の職業選択の幅が広がった。



※「Edu Town あしたね」は、東京書籍が運営するキャリア教育サイト

### 2 興味・関心をもった職業の SDGs に関わる取り組みを調べる。



「その職業に就いて生きていくには、その職業が持続可能な社会に合った取り組みをしていないといけない。」という児童の考えの広がりをもとに、選んだ職業の SDGs に関わる取り組みを調べる活動へと繋げていった。調べる際には、ICT 機器や本だけでなく、実際に働いているおうちの人へのインタビューなども行った。

### 3 調べたことをロイロノートにまとめ、互いに伝え合う活動をする。

似た職業を選んだ児童同士でグループを編成し、ロイロノートに調べたことをまとめた。発表の際には、それぞれの職業における SDGs の観点から見た課題を伝えるとともに、今後それらの課題をどのように解決していけばよいか、自分なりの思いや考えを発信した。また、学習発表会で保護者や地域の人々に発表し、SDGs についての理解を広く共有することができた。



## 学びが行動につながったポイント

- ① キャリア教育との結びつきを図ることで、SDGs が自分の将来にも深く関わっていることを理解し、今後のキャリア形成に活かしていくことができた。
- ② 学んだことを、学校行事等を通して校内や地域に発信することができた。








持続可能な社会づくりを郡山市から！ 学びを行動につなげよう！

実践例 11

# 環境について考えよう

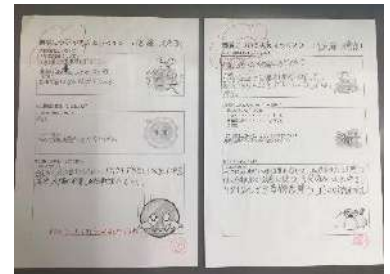
郡山市立永盛小学校 第5学年 社会科・総合的な学習の時間

| 基本データ   | テーマ・活動のねらい 等   |
|---|--|
| 関連する SDGs の目標：<br><br>   | <b>【テーマ】</b><br>地球をとりまく環境について学び、伝え合おう<br><br><b>【活動のねらい】</b><br>地球をとりまく環境について、「地球温暖化」「ゴミ問題」「森林の役割」などについて学んだ上で、自分の興味のある環境問題を調べ、自分たちが取り組めることを提案・実践する態度を育成する。 |

## 取組・活動の概要

### 1 地球をとりまく環境問題について学ぶ。

総合的な学習の時間に、「地球温暖化」「ゴミ問題」「森林の役割」等について学習した。NHK for school の番組やインターネットを活用し、問題が起こる理由やその弊害などについてワークシートにまとめた。基本的なことを学習した上で、環境について疑問に思ったことを調べることにした。



### 2 環境問題で興味をもったことについて調べまとめる。



学校図書館やインターネット、「郡山市の環境」などの資料を活用し、自分が興味をもったことについて調べていった。

調べる内容は、「水問題」「オゾン層の破壊」「ストップ地球温暖化」など様々で、子どもたちがそれぞれ課題を設定した。

設定した課題について調べたことを「ロイロノート」にまとめた。

### 3 まとめたことを伝え合い、できることから始めようとする意識をもつ。

課題について調べたことを、1・2組合同でグループに分かれて伝え合った。友達が興味をもって調べた「テーマ」について、うなずきながら真剣に聞くことができた。また、疑問に思ったことや質問などをして理解を深めていた。

伝え合いの後、自分に「できること」を考え、行動する意識を高めた。



## 学びが行動につながったポイント

- ① 「地球温暖化」「ゴミ問題」「森林の役割」など基本的な知識を身に付けた上で、自分の興味のあることを調べまとめた。
- ② 学んだことを伝え合うことで、自分事として考えることができた。







持続可能な社会づくりを郡山市から！ 学びを行動につなげよう！

実践例 12

「持続可能な社会の実現に向けて～5年〇組の提言～」

郡山市立柴宮小学校 第5学年 国語科・社会科・総合的な学習の時間

| 基本データ  | テーマ・活動のねらい 等   |
|--|--|
| <p>関連する SDGs の目標：</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>2 食糧をゼロに</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>13 気候変動に具体的な対策を</p> </div> </div> <p>社会科「これからの食糧生産とわたしたち」<br/>総合的な学習の時間「食について調べよう」<br/>国語科「自然環境を守るために」</p> | <p>【テーマ】<br/>わたしたちの食～食から考える環境問題～</p> <p>【活動のねらい】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・食に関する課題からの発展学習として環境問題に関心を持ち、その影響、原因、対策などを調べ、情報を関連付けたり、整理したり、分析したりすることを通して、よりよい環境を作るために大切なことを理解することができる。</li> <li>・環境問題を自分事として捉え、持続可能な社会の実現に向けて、自分なりの取り組みを提案することができる。</li> </ul> |

取組・活動の概要

1 問題意識を高めさせ、課題を自分事として捉えさせるために

SDGs への取り組みと共に、環境問題への取り組みについては、テレビのニュースや新聞などで目にする機会は増えたものの、別世界での出来事の如く机上における空論に陥りやすい。そこで、身近な話題として当時メディアを賑わせた米不足の問題を導入課題として取り上げ、食に関するさまざまな疑問について自由に調べたり、意見交換する場を設定したりしながら、自分事として課題に取り組めるようにした。その結果、第一次産業における従事者数の変化や食糧自給率、政治的問題などの社会的な要因と同時に、環境問題に起因することが大きいことに気付くなど、物事を多面的総合的に捉えたり、さらには、自分自身の生き方について考えたりすることができるようになった。



2 個別最適化と協働的な学びの実現のために (ICT 機器の積極的活用)

自分の考えを明確にするためのツールとして、ICT機器の積極的な活用に努めてきた。自分の考えを表現する手段として活用させることで「書くこと」を中核とした言語活動の充実とコミュニケーション能力の育成に努めることができた。



3 言語活動の充実に向けて



記録・説明・論述・討論（考え・まとめ・発表する）などの言語を使った活動を、意図的・計画的に設定することで、言語活動の充実が努めることができた。発表会などで使用した資料や作品は、学年全体で共有する場を設け、取り組みに対する継続化を図ったり、意識の持続化を促したりすることができた。



学びが行動につながったポイント

- ① SDGs の取り組みについては、「人間の生活」を変える・見直すという視点から、社会（自分以外）・自分自身の2つの立場での取り組みについて常に考えさせるようにしてきた。特に、自分ができる取り組みについては、節電や節水、ゴミの軽減化等が挙げられるが、継続的に取り組ませるためにも、定期的に報告する場を位置付けることで、意識の持続化に努めることができた。また、意識の持続化を図ることで、係や委員会活動の活性化や充実にも繋げることができた。
- ② 学びを通して、自分たちが未来の社会や地域を担う存在であることに改めて気付くことができたようで、家庭生活や地域活動へ積極的に参加する態度の育成へと繋がった。特に、家庭科「できるよ、家庭の仕事」では、家族の一員として、自分ができる仕事について振り返り、実践する姿が見られた。









持続可能な社会づくりを郡山市から！ 学びを行動につなげよう！

実践例 13

# 安全・安心な三穂田の水を、これからも

郡山市立穂積小学校 第4学年 社会科・総合的な学習の時間

| 基本データ   | テーマ・活動のねらい 等   |
|---|--|
| 関連する SDGs の目標：<br><br>  | <b>【テーマ】</b><br>安全・安心な三穂田の水を、これからも<br><br><b>【活動のねらい】</b><br>身近な飲料水をきっかけに、関連施設の見学と関係職員の説明をもとに、安全・安心な水の提供に対する思いを知るとともに、地域を支える安積疏水について調べ、見学や講話を通して、先人の思いに触れ、地域を守り繋いでいこうとする態度を育成する。 |

## 取組・活動の概要

1 私たちの生活を支える水について知り、水環境の保全と支える人々の思いを考える。

社会科「住みよいくらしをつくる～水はどこから～」の学習で、身近な水環境となる水道の仕組みについて学習し、猪苗代湖の水を浄化し、私たちの家庭・地域に安全な水を供給している「堀口浄水場」を訪問し、浄水場の仕組みについて学ぶとともに、安全・安心な水を供給する職員の思いなどに触れ、地域の水環境の保全について理解を深めた。



2 安積疏水について知り、安積開拓と水環境の保全に込められた思いを考える。



総合的な学習の時間「安積疏水と三穂田町の発展」の学習として、校舎の窓からも見える水路橋をはじめとした、地域の所々で見られる安積疏水の施設の見学を通し、安積疏水に対する興味を高め、安積疏水土地改良区をはじめとした関連施設の見学や関係職員等の説明から、安積疏水の整備に関わった人々の思いを考えたり、身近で豊かな水環境を守っていくための取組みについて調べたりしながら、様々な人々の思いを考えました。

3 安積疏水の整備に関わった人々の思いを考え、安積開拓に対する先人の思いを表現する。

社会科や総合的な学習の時間の学習活動を通して気づき、考えたことを話し合い、友だちと共有し、安積疏水の整備に関わる人々の苦労や工事の工夫等をオリジナルの劇にまとめた。時代や様々な人々の立場や関係を想像し、セリフや動きを工夫し、友だちと相談しながらシナリオや小道具を作り、練習を重ね、保護者や他学年の友だちに発表した。



### 学びが行動につながったポイント

- ① 身近な水環境に関心を持たせ、問題を自分事としてとらえることができた。
- ② 児童が気づき、学んだことをオリジナルの劇として発表することで意欲を高めることができた。







持続可能な社会づくりを郡山市から！ 学びを行動につなげよう！

実践例 14

# 身近な水環境を守り、美しい郡山市へ

郡山市立三和小学校 第5学年 理科・総合的な学習の時間

| 基本データ   | テーマ・活動のねらい 等   |
|---|--|
| 関連する SDGs の目標：<br>  | <b>【テーマ】</b><br>身近な水環境を守り、美しい郡山市へつなげよう<br><b>【活動のねらい】</b><br>実験を通して、水を汚す原因について理解を深める。また、笹原川や猪苗代湖の水質調査を行い、自分たちができる身近な水環境保全について考え、発信していく態度の育成を目指す。 |

## 取組・活動の概要

### 1 水の汚濁実験を行い、水を汚す原因について調べる。

身近な食材がどのくらい水を汚してしまうのか、100 日間の汚濁実験を行った。

2 週に 1 度記録を残し、汚れていく様子や臭いを調べた。タンパク質を多く含む食材が水をより汚してしまうことが実験を通して理解することができた。また、汚れたものが分解され、臭いもなくなるまでにはかなりの時間を要することが分かった。



### 2 笹原川の水質調査を行い、身近な河川の水環境について考える。

学校の近くを流れる笹原川へ行き、身近に流れてる河川はきれいなのか調べた。

まずはパックテストを行い、数値を基にし、水の汚れを調べた。次に、笹原川で採取した水生生物をもとに河川の水質について調べた。どちらの結果からも「ややきれいな水」ということが分かった。しかし、「昔はもっときれいだったのではないか」「少し汚れてしまっているのかもしれない」と振り返り、「汚さないためには、ごみを捨ててはいけない、捨てさせてはいけない」と、水環境の保全について思いを深めた。



### 3 猪苗代湖の水質調査を行い、福島県の水環境について考える。

福島県を代表する猪苗代湖の水質調査を行った。

合計 6 カ所のポイントで、パックテストによる水質調査、景観観察を行った。どのポイントにおいても水質調査の結果から「きれいな水」であることが分かった。特に船に乗って調べた湖の中心は人が立ち入らない所であるため、とてもきれいであることが分かった。

水質に影響を与える「ヒシ」についての理解を深めた。また、ヒシ殻の回収も行い、猪苗代湖の水環境の保全活動を行った。



## 学びが行動につながったポイント

- ① 水を汚す原因を汚濁実験を通して理解を深めることで、水を汚さないための行動を考え、家庭内で実践することに結びついた。
- ② 身近な水環境について、実際に調査することにより理解を深めた。地域の水環境を守りたいという意欲を高め、地域の方々に広めるポスターを作成し、発信することができた。







持続可能な社会づくりを郡山市から！ 学びを行動につなげよう！

実践例 15

## 安積疏水から考えるわたしたちの町

郡山市立多田野小学校 第4学年 社会科・総合的な学習の時間

| 基本データ   | テーマ・活動のねらい 等  |
|---|---|
| 関連する SDGs の目標：<br><br>  | <b>【テーマ】</b><br>安積疏水から考えるわたしたちの町<br><br><b>【活動のねらい】</b><br>地域の水環境の保全に取り組むために、安積疏水について知り、水について様々な観点から理解を深める。また、関わり方を見直し、自分たちでこれから取り組むべきことを考え、計画する能力・態度の育成を目指す。 |

### 取組・活動の概要

#### 1 安積疏水について知り、地域の水環境の保全について考える。

社会科「水はどこから」で、地域の水の利活用のしくみについて知り、「郷土を学ぶ体験学習」において十六橋水門等を訪問し、安積疏水について学ぶことを通して地域の水環境の保全について理解を深めた。



#### 2 地域の水環境の保全に関する課題について考える。



学校図書館やインターネットを活用し、安全な水を守っていくための世界的な課題や地域の課題について調べた。世界的な課題として、地球温暖化や森林伐採等によって「緑のダム」とも呼ばれる森林が減少し、不法投棄や海洋ごみ等によって水質汚染も進んでいることが分かった。猪苗代湖でも水温の上昇や生態系の変化によって水質が悪化していることが分かった。

#### 3 安全な水を守っていくために自分たちができることについて考えをまとめ、行動する。

ここまで学んだことをもとに、子どもたち一人一人が自分で取り組みたいことを決め、「地球温暖化を防ぐ」、「森林を守る」、「ごみを減らす」、「猪苗代湖の水質を守る」、「水を大切に使う」等のテーマごとにグループに分かれた。それぞれのグループが調べたことや考えたこと、取り組んでいきたいことをロイロノートにまとめ、授業で発表するとともに、鳥取県八頭町立郡家東小学校とのオンライン交流を通じて発信した。



### 学びが行動につながったポイント

- ① 温暖化等の世界規模の課題と地域の課題を自分事として考えることができた。
- ② 児童が学んだことをもとに、学校行事等で外部に発信することができた。






持続可能な社会づくりを郡山市から！ 学びを行動につなげよう！

実践例 16

ふるさとの自然環境から考えるわたしたちの町

郡山市立河内小学校 第5・6学年 総合的な学習の時間

| 基本データ   | テーマ・活動のねらい 等   |
|---|--|
| <p>関連する SDGs の目標：</p>  | <p>【テーマ】<br/>ふるさとの自然にふれ、環境保全について考えよう。</p> <p>【活動のねらい】<br/>逢瀬川での水生生物調べや逢瀬公園での自然観察を通して、ふるさとの自然環境を守る大切さについて考えることができる。</p> |

取組・活動の概要

1 逢瀬川での水生生物調査を行い、水環境の保全について考える。

「せせらぎスクール」の活動に参加し、逢瀬川に生息する水生生物の種類と数を調べることにより、川の汚れの程度を調べた。いろいろな生き物が生息していることから逢瀬川がきれいな川だということがわかり、ふるさとの美しい川や自然環境を大切にしたい意識を高めることができた。



2 逢瀬公園での自然観察を通して、ふるさとの自然のよさを感じる。

逢瀬公園では、季節を変えて数度の自然観察を行った。フィールドビンゴというネイチャーゲームも行い意識的に自然に目を向けさせる観察会やタブレットを持って各自が目的意識を持って自然を見ていこうとする観察会を行った。少しずつふるさとの自然のよさに気づき、大切にしていきたいという気持ちを持つことができた。



3 調べたこと、考えたことを新聞や発表会で伝える。

各活動のまとめとして、各自が学んだことをタブレットを活用して新聞にまとめた。また、学習発表会において、学習を通してわかったことや考えたことを問題の形で取り入れた総合劇を発表し、保護者や地域の方に自分たちの学びを伝えることができた。また、多田野小学校にも Zoom で交流することができた。



学びが行動につながったポイント

- ① 陸や海の豊かさ、きれいな水の大切さなどをふるさとの自然から考えることができた。
- ② 学んだことをもとにして、学習新聞や学校行事等で発信することができた。






持続可能な社会づくりを郡山市から！ 学びを行動につなげよう！

実践例 17

コミュニティースクールの機能を生かす

郡山市立片平小学校 全学年 社会科, 音楽科, 体育科等

| 基本データ   | テーマ・活動のねらい 等  |
|---|---|
| 関連する SDGs の目標：<br> | <b>【テーマ】</b><br>持続可能な地域の担い手としての人づくり<br><b>【活動のねらい】</b><br>コミュニティースクールとして地域人材を積極的に活用することにより, 専門的な知識を持つ指導者から指導を受ける経験をするを通して, 地域のことをよく知り, 好きになる児童を育てる。 |

取組・活動の概要

1 うねめ太鼓体験 (1~4 学年 ※6 年生は中学生との交流)

うねめ太鼓保存会の皆様にお世話になり, 全学年の児童を対象に行っている。うねめ太鼓の歴史に触れるとともに, 和太鼓の名称や演奏の仕方の基本について学び, 実際に演奏することで体験を通じた学習を行っている。



2 茶道教室 (6 年生対象)



片平茶道クラブの方を講師としてお招きし (会場は片平ふれあいセンター), 6 年生を対象に行っている。日本の文化に触れる貴重な経験になるとともに, うねめ太鼓同様, 礼儀やマナーについて体験的に学ぶ場となっている。

地域人材としては、他に近隣の農家に出向いての体験活動 (1~3 年)、老人会の協力を得て昔遊び体験 (1・2 年) なども行っている。

3 その他の外部講師による授業

トランポリン教室 (全学年対象)

片平小学校体育館で活動している郡山トランポリンクラブの指導者を特別講師として招聘し, 全校児童を対象にトランポリン教室を行っている。専門的な知識や技術を有する指導者から要点を押さえた指導を受けることができる貴重な機会となっている。



学びが行動につながったポイント

- ① 児童が地域の良さを知ることにつながった。
- ② 児童が地域の人々に見守られながら成長していることを実感できた。







持続可能な社会づくりを郡山市から！ 学びを行動につなげよう！

実践例 18

# 福祉についてできること

郡山市立喜久田小学校 第4学年 総合的な学習の時間

| 基本データ   | テーマ・活動のねらい 等   |
|---|--|
| 関連する SDGs の目標：<br>  | <b>【テーマ】</b><br>福祉についてできること<br><b>【活動のねらい】</b><br>(1) 障がいのある人や高齢者との交流や体験活動を通して、障がいのある人や高齢者の感じ方や考え方などについて理解を深める。<br>(2) 障がいのある人や高齢者と共に暮らしていくために、自分たちができることを考え、実践しようとする意欲を高める。 |

## 取組・活動の概要

### 1 体の不自由な方について考える ～車いす体験を通して～

社会福祉協議会の方の協力のもと、体験活動を実施した。1学期に、車いす体験を行い、段差を乗り越えたり、手洗場を実際に使ってみたりすることによって、身体の不自由な方が不便であることについて実体験をすることができた。また、障がいのある方との交流も行い、普段の生活の様子から、困っていることや工夫していることなどを聞くことによって、障がいへの理解を深めることができた。



### 2 高齢者の気持ちになって考える ～高齢者疑似体験を通して～



2学期も、社会福祉協議会の方の協力により、高齢者の疑似体験を行うことができた。負荷をかけたり、見えにくい状態をつくったりして、歩く活動を行った。普段、不自由なくできていることでも、加齢に伴ってやりにくくなってしまったり、難しくなってしまうことがあることを実体験することができた。3世代に渡って同居している児童もいるが、近所に祖父母が居住していないため、あまり実感できていない児童も多いことから、有意義な活動になった。



### 学びが行動につながったポイント

- ① 障がいのある方やお年寄りについて、自分事として考えることができた。
- ② 地域の方（外部講師）に協力いただき、実体験を伴う深い学びができた。







持続可能な社会づくりを郡山市から！ 学びを行動につなげよう！

実践例 19

# きれいな町をわたしたちから

郡山市立熱海小学校 第4学年 社会科・総合的な学習の時間

| 基本データ   | テーマ・活動のねらい 等   |
|---|--|
| 関連する SDGs の目標：<br>  | <b>【テーマ】</b><br>きれいな町をわたしたちから<br><b>【活動のねらい】</b><br>施設の見学やそこで働く人々の工夫等から、地域の水環境、環境衛生の保全について理解を深める。また、課題、原因を考える中で、環境への関わり方を自分事としてとらえ、主体的に環境へ関わろうとする態度を育てる。 |

## 取組・活動の概要

1 水道、ごみ処理について知り、地域の環境保全について考える。

社会科「水はどこから」の学習では、水環境について学び、「ごみのしよりと利用」の学習では、ごみの処理方法等を通して、環境衛生について学んだ。「郷土を学ぶ体験学習」では、浄水場やクリーンセンターの見学を通して、地域の水環境、環境衛生について理解を深めた。



2 水環境、環境衛生について考え、課題やその原因、解決策を考える。

授業や見学での学びから、安全な水、きれいな環境のための課題や原因について調べた。その際には、図書資料やインターネットなども活用した。また、水道水ができるまでの過程やごみが処理される仕組みについて見学学習をしたことで、それらに関わる人々の工夫についても理解を深め、自分たちにもできることはないのだろうか、自分事としてとらえることができるようになった。

3 環境保全のために、自分たちにできること、地域でできることを考え、発信していく。

これまで学んできたことから、子どもたち一人一人が自分にできる取り組みは何だろうか自分事としてとらえながら考え、話し合いを進めた。その中で、自分たちにできることだけではなく、地域の人たちにも協力してもらいたいという思いも芽生えた。そこで、調べたこと、考えたことを地域に発信しようと「熱海っ子文化祭」で発表した。水保全、環境衛生について、学んだことやみんなで取り組んでいきたいことなどを劇化して発表した。



### 学びが行動につながったポイント

- ① 見学学習を通して、自分にもできることはないかと考え、できることを実践している姿が見られた。
- ② 学んだことを学校行事で、保護者・地域の方々に発信することができた。







持続可能な社会づくりを郡山市から！ 学びを行動につなげよう！

実践例 20

# スーパーミラクルピカピカ大作戦

郡山市立安子島小学校 第3・4学年 総合的な学習の時間

| 基本データ   | テーマ・活動のねらい 等  |
|---|---|
| 関連する SDGs の目標：<br>  | <b>【テーマ】</b><br>地域の人々が笑顔いっぱい過ごせるようにボランティア活動をしよう。<br><b>【活動のねらい】</b><br>地域をよりよく、過ごしやすくするために自分たちができることを考え、行動活動を通して、地域の一員として積極的に地域に参画しようとする態度を高める。 |

## 取組・活動の概要

### 1 地域のごみ拾い活動

大好きな地域をきれいにしたいという思いから地域のごみ拾いを、方部ごとや地域の高齢者施設訪問の行き帰りに行う。Pepperの環境学習プログラムや SDGs 講座を受講し環境に対する意識を高め、ごみを拾うことで、海の豊かさを守り、自然環境を守ることができることを学び、活動意欲を高めていた。



### 2 安子ヶ島駅 花いっぱい運動と清掃



地域にある安子ヶ島駅を利用する人々に楽しんでもらおうと花いっぱい運動を全校生で取り組んでいる。4月から計画的にプランターの花を育て、9月に駅に設置し、毎朝水やりを行った。さらに気持ちよく駅を利用してもらうためにできるとはないかと話し合い、水やりに行ったときに、駅の草むしりや連絡通路の清掃、駅でのあいさつ運動を行った。

### 3 認知症サポーター養成講座の受講と地域の高齢者施設訪問

地域の人を笑顔に元気にしたいという思いから、地域の高齢者施設訪問を行った。地域包括支援センターの方をお招きし、認知症サポーター養成講座を受講し、認知症の理解を深めたり、お年寄りへの声掛けや配慮すべきことについて学んだりした。高齢者施設訪問では歌やダンス、音楽劇などを披露したり、手遊びを一緒に行ったりして交流した。お年寄りの目線に立って話したり、ゆっくりはっきり発表したりと相手を思いやり活動する姿が見られた。



## 学びが行動につながったポイント

- ① 海から遠い地域でも海の豊かさを守ることができることが分かり、地域をきれいにしようとする意欲を高めることができた。
- ② 相手を正しく理解することで、相手の立場や自分にできることを具体的に考えて行動することができた。









持続可能な社会づくりを郡山市から！ 学びを行動につなげよう！

実践例 21

## 給食から SDGs を（守山っ子栄養教室）

郡山市立守山小学校 第6学年 学活・家庭科 及び 給食委員会の取組

| 基本データ   | テーマ・活動のねらい 等   |
|---|--|
| 関連する SDGs の目標：<br><br>  | <b>【テーマ】</b><br>自分たちでできるフードロス対策を考えよう<br><br><b>【活動のねらい】</b><br>フードロスの問題に取り組むために、第6学年では学活・家庭科を関連させ、残食を減らすために美味しく栄養バランスの良い献立を考える。さらに委員会活動へと活動を広げ自分たちでできるフードロス対策を考える。 |

### 取組・活動の概要

#### 1 栄養バランスとメニューについて考える。

学活「守山っ子栄養教室」ワークシートを使って栄養バランスを意識したメニューを考える活動を行った。その際、講師を務めた本校栄養士より給食の残食についての話を聞き、栄養のバランスだけでなく「誰もが残さず食べたくなるようなメニューを考えよう」という味や見た目にもこだわったメニューを考えるきっかけとなった。



#### 2 ふくしまっ子ごはんコンテストへの参加と、家庭科での実践。

「守山っ子栄養教室」での学習をもとに、6年生全員が「ふくしまっ子ごはんコンテスト」に参加した。さらに、家庭科の「こんだてを工夫して」の学習でもこれまでの経験を生かし、栄養バランスや旬の食材の使用など、各自工夫をして「残食0の美味しいメニュー」を考え、「旬の食材を使いました」「見た目、特に彩りにこだわりました」など、それぞれが工夫してメニューを考えた。



#### 3 守山小学校の給食について調べる。



児童会給食委員会の児童が、フードロスの問題に対して「自分たちができることは、給食の食べ残しを減らすことだと思う」と児童会委員会の時間に残食調べを行った。メニューや食材によって、多い日や少ない日があること、また学級によっても残食の量に違いがあることに気付いた。自分たちでできるフードロス対策とのテーマで食べ残しを減らすことを呼びかけるポスターを作成し、校内に掲示した。

### 学びが行動につながったポイント

- ① 身近な食について考え、残食を出さないメニューをテーマの一つとすることで、バランスの良い献立を考えることができた。
- ② フードロスが問題であることを知り、積極的に残食を無くしていこうと呼びかけるなど、自分たちでできるフードロス対策に取り組むことができた。







持続可能な社会づくりを郡山市から！ 学びを行動につなげよう！

実践例 22

御代田農業まる見え！～農作部・農業宣伝部～

郡山市立御代田小学校 第5学年 総合的な学習の時間

| 基本データ   | テーマ・活動のねらい 等   |
|---|--|
| 関連する SDGs の目標：<br><br>  | <b>【テーマ】</b><br>体験を通して知った「農業の魅力」をより多くの人に伝えるためにはどうしたらよいか話し合い、新たな課題を見つけよう。<br><br><b>【活動のねらい】</b><br>農業を体験し、その成果を発表する活動の中で、学区で営まれている農業の魅力に気づき、持続可能な農業の在り方について他に発信することができる。 |

取組・活動の概要

1 外部講師の協力を得て、野菜の収穫体験を通じて農業の魅力を知る。

地域で営まれている農業の実態を知ることと、収穫の喜びを体験することを目的に、地区の農家の方の協力を得て、玉ねぎの収穫体験を行った。野菜作りの魅力や苦労、肥料の配合の秘密など、普段聞くことができない話に、児童は興味津々であった。また、自身の手で野菜を収穫した喜びは、今後の活動を進めていく上で、大変強い動機付けとなった。



こんなに大きな玉ねぎがとれたよ

2 自分たちで野菜を育て、収穫した野菜を調理して味わう。

収穫体験でお世話になった外部講師を招待して、「夏野菜パーティー」を実施した。校地内に小さな畑を作った際にも助言をいただいたため、その恩返しも兼ねて、調理した夏野菜と一緒に味わった。また、別の日には、収穫したスイカの糖度を計るため、地区の果樹農家から糖度計を借りて測定し、生育状況を客観的に評価することができた。



地域の方を招いて夏野菜パーティー

3 これまでの活動を振り返り、農業の魅力と今後の課題について発信する。

後継者不足や食料自給率の低下などが一般的に農業の抱える課題とされるが、児童らは、多くの人々が農業の魅力を知らないことこそが大きな課題だと感じ、自分たちが感得した農業の魅力を広く発信しようと計画を立てた。今後の農業の在り方や、どのような手段で農業の魅力伝えるかが活発に議論され、11月の中間発表会（土曜参観『御代田っ子ラボ』発表会）で、教室に集まった他学年の児童や保護者、地域の方々に向けて発表することができた。



体験をもとに農業の魅力を発信

学びが行動につながったポイント

- ① 地域の方々の協力を得られたことで、自分の住む地区をより身近に感じることができた。
- ② 児童自身が感じた農業の魅力を発信しようと、意欲的に活動することができた。






持続可能な社会づくりを郡山市から！ 学びを行動につなげよう！

実践例 23

## 食べ物から見える世界 (SDGs って何?)

郡山市立高瀬小学校 3年：学級活動 1年：生活科 他

| 基本データ   | テーマ・活動のねらい 等   |
|---|--|
| 関連する SDGs の目標：<br> | <b>【テーマ】</b><br>SDGs って何? ～SDGs を知ろう!～<br><b>【活動のねらい】</b><br>食べ物を通して、「SDGs」について知ることができる。 |

### 取組・活動の概要

#### 1 SDGs 出前講座 3年：学級活動

市内 NPO 団体を講師として、SDGs 出前講座を実施した。はじめに NPO 法人の方より SDGs とは何かについて教えていただいた。次に、連携しているコンビニエンスストアの方から、そこで行っている SDGs の取組について、クイズを通して学ぶことができた。



#### 2 サツマイモを育てよう 1年：生活科



1年生と2年生の児童が、生活科の学習でサツマイモを育てた。栽培の大変さを体験したことで、収穫の喜びを味わうことができた。収穫したサツマイモは、給食のメニューにも取り入れ、全校生で味わうことができた。また、ツルも

捨てずにリース作り(保護者ボランティアも参加)に活用し、食べ物を無駄にしない心・大切にすることを養うことにつながった。

#### 3 SDGs 給食：全学年



ごぼうの皮をむかずに調理することで、調理の際に出るごみを減らすことができた。給食の時間の放送で、児童会委員会の児童が、SDGs 給食について説明した。



### 学びが行動につながったポイント

- ① 食べ物を通して、SDGs について学ぶことができた。
- ② SDGs を自分事としてとらえるきっかけとなった。







## 実践例 24

# 持続可能な社会づくりを郡山市から！ 学びを行動につなげよう！ 食育から考える SDGs～外部講師との連携～

郡山市立谷田川小学校 第5学年 家庭科, 全学年 食育指導

| 基本データ   | テーマ・活動のねらい 等   |
|---|--|
| 関連する SDGs の目標：<br><br>  | <b>【テーマ】</b><br>食育から考える SDGs～外部講師との連携～<br><br><b>【活動のねらい】</b><br>外部講師と連携し、自分達の身の回りにあるお店が SDGs の取り組みをしていることを知り、食品ロスについて理解を深める。また、給食の SDGs 献立を通して、自分達にもできる活動を考えるきっかけとすることができる。 |

### 取組・活動の概要

#### 1 株式会社ヨークベニマルの外部講師から企業の SDGs の取り組みについて知る。

外部講師に依頼し、企業の SDGs 「食品ロス」について講話をいただいた。日本では、年間 523 万トンの食品ロスが出ている。その内、47%が家庭から、53%が企業から出ていることを学んだ。ヨークベニマルでは、SDGs の取り組みの一例として、魚のあら（頭・骨等）を回収し、鶏のえさとしてリサイクルし、その卵を店頭で販売している。また、手前取りやばら売り、こども食堂などに寄付されるフードドライブなどについて学んだ。



#### 2 簡単なサラダ調理を行い、体験的活動を行う。



食品ロスに焦点をあてた SDGs の取り組みを聞いた後、簡単なサラダづくり体験を行った。班のメンバーと協力して、楽しみながらサラダづくりを行った。児童はサラダづくりを通して、野菜の上手な取り方やバランスのよい食事が健康につながることを学んだ。また、一人ひとりが食品ロスを意識して、サラダを残さず食べようとする姿が見られた。

#### 3 学校給食で SDGs 献立を取り入れ、放送で説明する。

横断的なつながりとして、給食に SDGs 献立を取り入れ、食品ロスについて意識向上を図った。調理員と連携し、大根や人参の皮をむかずに、山菜うどんを提供した。また、お昼の放送に食品ロスについて説明を行い、掲示物を作成した。



### 学びが行動につながったポイント

- ① 外部講師と連携した SDGs の講話を通して、食品ロスの課題が自分事として考えることができた。
- ② 給食と関連させたことにより、SDGs の取組が実感として認識できた。




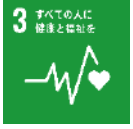




持続可能な社会づくりを郡山市から！ 学びを行動につなげよう！

実践例 25

# よりよい自分や社会に向けて

郡山市立金透小学校 第6学年 特別の教科道徳・国語科・総合的な学習の時間

| 基本データ   | テーマ・活動のねらい 等   |
|---|--|
| 関連する SDGs の目標： <div style="display: flex; flex-wrap: wrap; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>1 貧困をなくそう</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>3 すべての人に健康と福祉を</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>4 質の高い教育をみんなに</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>10 人や国の不平等をなくそう</p> </div> </div> | <b>【テーマ】</b><br>よりよい自分や社会に向けて<br><b>【活動のねらい】</b><br>東南アジアで暮らす子どもたちの現状を、現地ボランティアの方から聞くことで、国際的な理解を深めるとともに、自分が生きる意味や学ぶ目的を捉え直す。また、よりよく生きる自分や社会の実現に向けて、気づきを行動化する。 |

## 取組・活動の概要

### 1 外部講師の方から、東南アジアの子どもたちの現状を聞く。

特別の教科道徳における「国際理解、国際親善」「よりよく生きる喜び」の内容項目の充実を目指し、現地でボランティアを行っている方の講話を聞いた。2年前も同様の講話を聞いていた子どもたちであったが、前回とは違う感想や気づきを得たことを実感していた。その中で、東南アジアの子どもたちの金銭的な貧しさや生活の困難さ、心の豊かさを学んだ。



### 2 全校生に対して、募金および支援物資の協力を呼びかける。



国語科「考えるとは」の単元において、本文や外部講師の講話から「自分たちは、人の役に立つために学び、考えている」ことに気づきを得たことで、行動化したい気持ちが高まっていた。子どもたち中心に学級で話し合うと、全校生に協力を仰ぎながら、お金と文房具等の支援物資をそれぞれ募ることを決定した。後日、自分たちでポスターや放送原稿を作成したり、計画を立てて各学級へ訪問したりする等、必要感をもって活動に取り組んだ。

### 3 行動化したことが、新たなつながりをもたらす。

集まったお金と支援物資を自分たちで集計し、全校生へお礼と集計結果を放送で伝えた。後日、外部講師の方に来校いただき、代表の子どもが支援物資を手渡した。また、物資を届けた際には、オンラインミーティング等により、現地の子もたちとつながる機会をいただけることも決まった。



## 学びが行動につながったポイント

- ① 世界の現状を知り、社会の一員として、自分事として考えることができた。
- ② よりよく生きる自分たちや社会を目指し、気づき・考えたことを実践できた。








持続可能な社会づくりを郡山市から！ 学びを行動につなげよう！

実践例 26

# ポスターを作ってSDGsを伝えよう

郡山市立芳山小学校 ボランティア委員会の活動

| 基本データ   | テーマ・活動のねらい 等  |
|---|---|
| 関連するSDGsの目標：<br>   | <b>【テーマ】</b><br>ポスターを作ってSDGsを伝えよう<br><b>【活動のねらい】</b><br>ポスターを作り、校舎内に掲示する活動を通して、全校児童にSDGsについて伝えるとともに、SDGsへの理解を深める。 |

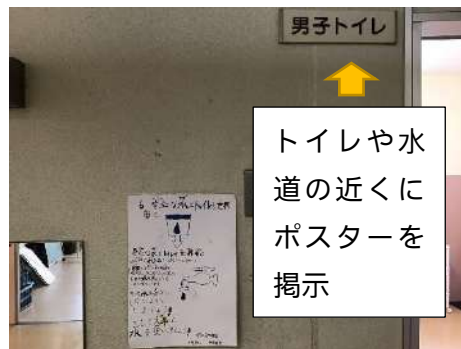
## 取組・活動の概要

### 1 SDGsについて調べ、ポスターを作る。

ボランティア委員会の取り組みの一つとして、タブレット端末等を活用し、SDGsについてペアで調べた。調べた後、関心のあったSDGsの目標に関するポスターを作成した。



### 2 作成したポスターを校舎内に掲示する。

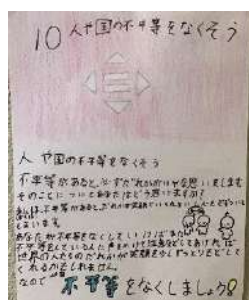


トイレや水道の近くにポスターを掲示

委員会で作成したポスターを校舎内に掲示した。例えば「6 安全な水とトイレを世界中に」について描いたポスターは、水道やトイレの近くに掲示した。相手意識をもってポスターを掲示することで、ポスターを見た人の行動とSDGsがつながるようにした。

### 3 掲示したポスターをみることを通して、全校児童がSDGsへの理解を深める。

掲示したポスターに子どもたちが目を通すことで、全校児童がSDGsへの理解を深めることができた。



## 学びが行動につながったポイント

- 子どもたち自身がSDGsの目標とポスターを目にした児童の行動が結び付く場所を考えたり選んだりしてポスターを掲示したこと。







持続可能な社会づくりを郡山市から！ 学びを行動につなげよう！

実践例 27

# 水とごみから住みよいくらしを考える

郡山市立橋小学校 第4学年 社会科

| 基本データ   | テーマ・活動のねらい 等  |
|---|---|
| 関連する SDGs の目標：<br><br>  | <b>【テーマ】</b><br>水とごみから住みよいくらしを考える<br><br><b>【活動のねらい】</b><br>上下水道とごみ処理のしくみ、働く人たちの工夫や努力、地域の実態や課題などを学び、限りある水を使い続けるために、また、ごみを減らすために、自分たちにできることを考え、実行しようとする態度や能力の育成を目指す。 |

## 取組・活動の概要

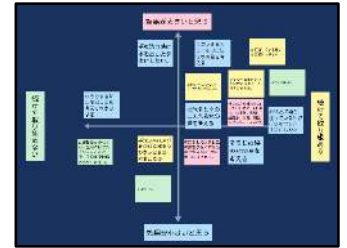
### 1 安全できれいな水をつくるための工夫や努力について調べる。

「水はどこから」の単元において、浄水場のしくみや安全できれいな水道水をつくるための工夫や努力を調べる際に、郡山市の市政きらめき出前講座を活用し、上下水道局浄水課の方をお招きして、実験を取り入れながら水道水ができるまでの流れについて理解を深めた。



### 2 水を大切に使い続けるために、自分たちにできることを考える。

浄水場のしくみや水道水ができるまでを学習した後で、大切な資源である水を守るために自分たちができることを考えた。その際、シンキングツールの座標軸を活用して、自分たちの考えた取り組みが、効果的で持続可能な取り組みかどうかを分類しながら話し合いをした。



### 3 郡山市の5Rの取り組みや分別の仕方について調べる。

「ごみのしよりと利用」の単元においても、郡山市の5R推進課の方をお招きして、郡山市で行っているごみ減量の取り組みや分別の仕方などを学習した。自分たちが出しているごみの量がどのくらいなのか、減らすために効果的な方法は何かについて理解を深めることができた。



### 4 ごみを減らすために、自分たちにできることを考える。

ごみ処理のしくみやリサイクルなどについて学習した後、ごみ減量のために自分たちができることを考えた。ここでもシンキングツールの座標軸を活用したことで、グループでどうすればごみを減らせるのかを真剣に話し合う姿が見られ、自分事として考えることができていた。



## 学びが行動につながったポイント

- ① 環境を守る取り組みを知り、自分にできる取り組みを考えられるようになった。
- ② 節水やごみの減量について話し合い、家庭でも実践できるようになった。







## 実践例 28

持続可能な社会づくりを郡山市から！ 学びを行動につなげよう！

# わたしたちの生活の中のゴミ

郡山市立小原田小学校 第4学年 社会科・総合的な学習の時間

| 基本データ   | テーマ・活動のねらい 等  |
|---|---|
| 関連する SDGs の目標：<br>  | <b>【テーマ】</b><br>わたしたちの生活の中のゴミについて考える。<br><b>【活動のねらい】</b><br>ゴミの多い郡山市の現状を知り、環境を守っていくために、自分達がこれから取り組むべきことを考えて行動する態度の育成を目指す。 |

### 取組・活動の概要

#### 1 ゴミはどのように処理されているのか知り問題点について考える。

社会科「ゴミの処理と利用」の単元で、地域の処理のしくみについて知った。学ぶことを通して理解を深めると同時に、身の回りのゴミ処理の問題点について関心を持った。



#### 2 夏休み中、家庭でできるエコ活動に取り組む。

「ゴミを減らそう大作戦」と称して、家族でゴミを減らす作戦会議を開き、夏休み中に家族で続けて取り組んでいきたいことを決めた。記録用紙を作って、エコ活動ができた時には取り組んだことを書きこみ、3Rを意識して生活することを心掛けた。保護者と一緒にペットボトルやダンボールをリサイクルボックスに運んだり、生ゴミを絞って水分量を減らしたりするなど積極的に取り組む児童が多く見られた。

#### 3 「市政きらめき出前講座『5R』を知っていますか。」で学び、考える。



9月に講師を招いて出前講座を行った。郡山市が市民一人あたりのゴミ排出量が大変多いという事実を知るとともに、ゴミ処理の現状、市が実施している事業、今日から出来るゴミを減らすための取り組みについて学んだ。実際にペットボトルのプラスチックを種類ごとに分別して捨てることを体験し、リサイクルへの意欲が高まった。



#### 4 ゴミを減らすためにできることについて考えをまとめ行動する。

児童一人一人が自分でテーマを決めて調べた。授業参観で保護者に発表するとともに、ポスターを作って発信することができた。



### 学びが行動につながったポイント

- ① 自分達の生活が、環境破壊につながっていることを自分事としてとらえることができた。
- ② 学んだことをもとに、家族と共に行動につなげることができた。








# 実践例 29

持続可能な社会づくりを郡山市から！ 学びを行動につなげよう！

## SDGs とわたしたち～できることから始めよう！～

郡山市立開成小学校 第5学年 国語科・総合的な学習の時間

| 基本データ   | テーマ・活動のねらい 等   |
|---|--|
| 関連する SDGs の目標：<br> | <b>【テーマ】</b><br>SDGs とわたしたち～できることから始めよう！～<br><b>【活動のねらい】</b><br>社会科や理科の既習内容に関連する 6 つの目標の中から、興味を持ったテーマを選択し、日本・世界の現状や問題点等を調べて理解を深める。自分達にとって身近な問題であることを捉えさせた上で、今からできることは何かを考え、発信したり実践したりする能力・態度を育成する。 |

### 取組・活動の概要

#### 1 6 つの目標から選んだテーマについて、現状や問題点を捉える。

SDGs に関する資料冊子を一人1冊配付し、SDGs の 17 の目標について学んだあと、社会科の水産業・工業や理科の天気などの学習内容と関連する 6 つの目標の中から自分の興味関心があるテーマを選択した。

学習を始めた頃、児童の「SDGs」に対する知識は、聞いたことはあるが詳しくは知らないという程度であったが、冊子を読み進めていくうちに、「このままでは大変だ」「もっと詳しく知りたい」という感想を持ち、自分のテーマについて調べる意欲を高めていた。



#### 2 選択したテーマについて調べたり、実験したりしながら課題や解決策について考える。



自分のテーマについて世界や国内の現状や課題について、学校図書館、インターネットを活用したり、実際に実験したりして調べ学習を進めた。

◇ 地球温暖化対策として、原因となる二酸化炭素を排出(増加)させないために、節電などに取り組む必要がある。一方、再生可能エネルギーには、発電量が不安定なことや発電コストが高いことなどから普及が進まない等の課題も多い。(目標 7)

◇ 日本における「食品ロス」は年間 470 万トンに上り、それは、世界中で飢餓に苦しむ人々に向けた食料支援量とほぼ同等である。「買いすぎない」「作りすぎない」「注文しすぎない」「食べきる」などの無駄をなくす行動が重要である。(目標 12)

◇ 世界では、汚染された水により年間約 30 万人の子どもが下痢で命を落としている現状がある。水を出しっ放しのまま手を洗った実験では、1 回に約 10L の水を使うことが分かった。水の大切さを忘れず節水に気を付けることを意識して利用すべきである。(目標 14)



#### 3 課題に対する考えをまとめ、自分達にできることを発表する。



国語科「自然環境を守るために」では、総合的な学習との教科等横断的な学びを構想し、統計的資料を用いて自分の考えを文章にまとめ交流した。



総合的な学習の時間では、学年発表会、4年生に向けた発表会を実施した。調べて分かったことや今から取り組みたいことなどを、ポスターや新聞、紙芝居などにまとめて発表した。その後、保護者に動画で発信した。

### 学びが行動につながったポイント

- ① 他教科の学習と関連させながら、主体的に課題解決学習に取り組むことができた。
- ② 「自分達にできること」を具体的に考え、4年生や保護者に向けて発信した。







## 実践例 30

持続可能な社会づくりを郡山市から！ 学びを行動につなげよう！

# だれもが健康で幸せに生きる社会を考えよう

郡山市立芳賀小学校 第5学年 総合的な学習の時間

| 基本データ   | テーマ・活動のねらい  |
|---|---|
| 関連する SDGs の目標：<br><br>  | <b>【テーマ】</b><br>共に生きる ～「命」について見つめ直そう～<br><br><b>【活動のねらい】</b><br>身体に障がいのある方から、生活の様子や工夫について話を聞く活動を通し、さまざまな人と共に助け合い、支え合って生きる社会づくりを目指すことができる。 |

### 取組・活動の概要

#### 1 視覚に障がいがある方の話を聞き、

共に生きる大切さに気づく

「郡山市盲人協会」の講師から盲導犬の役割と、生活にどう関わっているかについて話を聞いた。盲導犬にむやみに声をかけたり、触ったりしない、というマナーについて理解することができた。



#### 2 聴覚に障がいがある方の話を聞き、共に生きる大切さに気づく



「郡山市聴力障害者協会」の講師から話を聞き、手話や口話、身振りなど様々な方法でコミュニケーションできることを理解することができた。

また、講師の方の身振りから、何を伝えようとされているのかを考え、分かった時に、伝え合える喜びを感じることができた。

#### 3 肢体不自由障がいがある方の話を聞き、

共に生きる大切さに気づく

「特定非営利活動法人 あいえるの会」の講師の方々から話を聞き、暮らしやすい住環境の工夫や、介助や支援の際に配慮することについて、学ぶことができた。



### 学びが行動につながったポイント

- ① 社会には様々な立場の人が生活していることに気づき、協力して生きる社会を実現するための「提言書」を書く活動につながった。
- ② 講師の方々に礼状を書くにあたり、視覚に障がいのある方には音声ファイルで届ける等、相手の立場になって考え、思いが伝わる礼状を書く活動につながった。







持続可能な社会づくりを郡山市から！ 学びを行動につなげよう！

実践例 31

地球環境を守るために私たちにできること！

郡山市立桃見台小学校 第3学年 総合的な学習の時間

| 基本データ   | テーマ・活動のねらい 等   |
|---|--|
| 関連する SDGs の目標：<br>  | <b>【テーマ】</b><br>地球環境を守るために私たちにできること<br><b>【活動のねらい】</b><br>食品ロスの現状とロスを防ぐために自分たちができることを考え、給食の残菜を減らすなどの実践力を育む。また、食品ロスを防ぐことが地球環境を守ることにつながることを知り、生活に活かす能力の育成を目指す。 |

**取組・活動の概要**

**1 食品ロスとは何か、また食品ロスを防ぐためのキューピーの取り組みについて知る。**

キューピーSDGs教室で、今、地球上で起こっている問題について学ぶことができた。その中でも食品ロスとはどういうことなのか、キューピーが会社でどのような取り組みをしているのかについて詳しく知ることができた。これらのことを通して、食品ロスを防ぐ大切さ、地球環境を守るために自分たちができることへの興味や関心を高めることができた。



**2 食品ロスを防ぐことが地球環境を守る行動につながっていることを考える。**

キューピーSDGs教室の内容、資料等を活用し、地球環境を守っていくために自分たちができることについて考えた。食品ロスをなくすために、まずは給食や家庭での残菜を減らすこと、そのことがゴミを減らすことにつながり、ゴミを燃やすエネルギーの削減、二酸化炭素の削減へと、1つの行動が地球環境を守る様々なことにつながっていくことを理解することができた。

**3 地球環境を守るために自分たちができることについてまとめ、行動する。**

ここまで学んできたことを基に、子どもたち一人一人が自分で取り組みたいことを決め「食品ロスについて考えよう」「日本の食糧自給率について」「3Rってなんだろう」等のテーマごとにグループに分かれた。各グループで追究してきた内容を、模造紙やロイロノートのカードにまとめ、1組、2組合同で発表会を行った。また、発表会で得た感想やアドバイスを基に更に内容を高め、授業参観で保護者に発表した。



**学びが行動につながったポイント**

- ① 食品ロスについての問題から、ゴミの削減、地産地消、賞味・消費期限の違いなど多面的に考え生活に生かそうとすることができた。
- ② 学習の後、給食を残さずに食べようとする姿が見られるようになり、実際に残菜が減っている。「地球にも、体にもいいよね。」というつぶやきが聞かれることもあった。







持続可能な社会づくりを郡山市から！ 学びを行動につなげよう！

実践例 32

## わたしたちの地球の未来のために

郡山市立赤木小学校 第4・6学年 総合的な学習の時間(学習発表会)

| 基本データ  | テーマ・活動のねらい 等   |
|--|--|
| 関連する SDGs の目標：<br><br> <br><br>等 | <b>【テーマ】</b><br>地球の未来 今 自分たちにできること<br>つくりだそう わたしたちのよりよい未来<br><br><b>【活動のねらい】</b><br>環境問題をはじめ、身近な問題から地球全体に関わる問題から、現状と自分たちがこれから取り組むべきことを考え、実行する能力・態度の育成を目指す。 |

### 取組・活動の概要

#### 身近な環境問題から地球規模の諸問題まで

4年生は、平均気温の上昇、それによる身近な生活への具体的な影響、ごみ問題とその解決のため自分たちができること、生態系の変化とそれが示す環境の危機など、身近な問題や気付き・発見から、地球環境を守ることが SDGs に繋がっていくことをまとめ、発信した。

6年生は、飢餓・食糧、生物共存、ジェンダー平等、医療、健康・福祉、気候変動、産業・生産、エネルギー等の様々な地球規模の問題について、具体的な事象を取り上げ、考えられる対策等を提言する形で発信した。

両学年とも、数値や写真・図などの具体的なデータを示しながら問題を提起し、自分たちの意見や考えを発信した。

#### 学習発表会で発表することでの大きな学習効果

本校の総合的な学習の時間の配慮事項にある、「気付く」「計画する」「調べる」「まとめる」「発信する」というサイクルに基づき、学習発表会で全校生・保護者に伝えることを目標に学びを進めてきた。「発信する」という明確な目標をもって一連の活動に取り組んだことで、学習者である4・6年児童にとってより深い学びになったことに加え、聞き手であるその他の学年の児童にとっても SDGs について考える大きなチャンスとなった。



### 学びが行動につながったポイント

- ① 身近な問題から世界規模の課題まで、自分事として捉えることができた。
- ② 全校生・保護者に伝えるという形をとることで、提言として実践を促す内容にまとめることができた。







持続可能な社会づくりを郡山市から！ 学びを行動につなげよう！

実践例 33

# 特産物から考えるわたしたちの町

郡山市立薫小学校 第3学年 社会科・総合的な学習の時間

| 基本データ   | テーマ・活動のねらい 等   |
|---|--|
| 関連する SDGs の目標：<br><br>  | <b>【テーマ】</b><br>大好き！わたしたちの郡山<br><br><b>【活動のねらい】</b><br>郡山市の特産物を知ることから、自分たちの住んでいる地域の特徴について理解を深める。ブランド野菜を取り上げ、生産に取り組んでいる方々から話を聞きながら、自分たちがこれから取り組むべきことを考える力の育成を目指す。 |

## 取組・活動の概要

### 1 さがせ！郡山のとくさん物

社会科「はたらく人とわたしたちの暮らし」で扱われる「農家の仕事／工場の仕事」の中で、郡山市の農業・工業の現状に興味をもち、独自のブランド野菜づくりに取り組んでいることや福島県の交通網の中心である郡山市が新産業都市の1つとして、発展を遂げてきたことについて理解を深めた。



### 2 ブランド野菜ってなあに



農業を営むゲストティーチャーに来ていただき、郡山市の有志の会で進めている「郡山ブランド野菜」について説明を受けた。

その後、ブランド野菜について調べたり、郡山市の農業の現状に加え日本各地の取組みについて調べたことと比較したりすることによって、持続可能な農業、農業から考える未来の郡山市の姿について考えを深めることができた。

また、見学学習では、「園芸振興センター」、「JA愛情館」を訪問し、より理解を深めることができた。

### 3 かわってきたね！郡山の暮らし

学んできたことをもとに、社会科の「市のうつりかわり」の学習と横断的に進めながら、移り変わってきた市の様子や人々の暮らしの様子の変化について考えることができた。先人の苦労や工夫を学習することを通して、未来の郡山市の姿に対して、自分ができることを考えようとする意欲が増した。



## 学びが行動につながったポイント

- ① 農業が抱える問題を身近な課題と捉え、自分事として考えることができた。
- ② 児童が学んだことをもとに、保護者や地域に発信することができた。







持続可能な社会づくりを郡山市から！ 学びを行動につなげよう！

実践例 34

かがやく未来へ～よりよい生活をするために

郡山市立富田小学校 第4学年 総合的な学習の時間

| 基本データ   | テーマ・活動のねらい 等   |
|---|--|
| 関連する SDGs の目標：<br>  | <b>【テーマ】</b><br>未来を想像し、できることを考えよう<br><b>【活動のねらい】</b><br>世界の様々な問題について知り、関心をもった目標について追究活動を行った。それを踏まえ、SDGs の目標達成に向けて自分にできることを具体的に考え「SDGs 宣言」を策定し、自分たちがこれから取り組むべきことを考える力の育成を目指す。 |

取組・活動の概要

1 SDGs って何？～世界や日本の問題を知ろう

図書資料や「NHK for school」の動画等で、世界で起きている様々な問題について知ることができた。「水や食べ物がない」「学校に行くことができない」など、自分たちの生活からは想像もつかないような状態の国があることに衝撃を受けていた。



2 未来を想像し、できることを考えよう

17 の中から最も関心をもった目標ごとにグループを編成。

- ①関心をもった理由    ②問題になっていること
- ③問題を解決する方法    ④問題解決のために自分たちができること
- ⑤学習をふりかえって

グループごとに追究活動を行い、5 項目についてまとめた。ロイロノートを使うことで、プレゼンテーションができるようにした。



3 調べたことを発表しよう

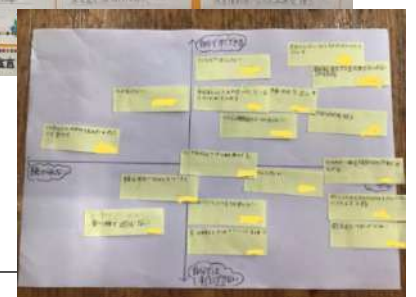
10 月の授業参観で、グループごとに発表をした。お互いの発表を見ることで、SDGs への理解を深めることができた。



4 SDGs17 のゴールに向けた具体的な取り組みを考えよう

これまでの学習を振り返り、SDGs の目標達成に向けて自分にできることを具体的に考えた。

それぞれの考えをグループごとに座標軸を使って話し合い、「自分ですぐできる」、「続けられる」という視点から、特にがんばりたいことを1つ決め、それを「SDGs 宣言」とした。「SDGs 宣言」は教室に掲示し、月末に目標を達成できたか振り返りを行っている。



学びが行動につながったポイント

学習したことをもとに自分の生活を見直し、SDGs 実現に向けて自分がすぐに、そして継続的に実行できる目標を決めた。定期的に振り返りをするすることで、子どもたちの意欲や関心を持続しながら取り組むことができた。






## 実践例 35

持続可能な社会づくりを郡山市から！ 学びを行動につなげよう！

# SDGs を学ぼう

郡山市立富田東小学校 第4・5学年 総合的な学習の時間、給食委員会

| 基本データ   | テーマ・活動のねらい 等   |
|---|--|
| 関連する SDGs の目標：<br> | <b>【テーマ】</b><br>SDGs を学ぼう<br><b>【活動のねらい】</b><br>総合的な学習の時間や委員会活動の時間に SDGs について調べ理解を深める。さらに、学んだことを学級や学校に発信することでクラスや全校生で共有していく。 |

### 取組・活動の概要

#### 1 17 の目標を知り興味を持った目標を調べる。

5 学年の総合的な時間の学習では、一人一人が興味を持った目標を選び、現状と課題を調べる学習を行った。インターネットや図書館の本で調べ、調べたことは、東っ子 DAY（土曜参観）に保護者にも発表する場を設けた。調べたことにより理解を深め、さらに学校や家で自分たちができることにも気づくことができた。



#### 2 SDGs について知る。

4 学年の総合的な時間の学習で、SDGs について理解を深める学習を行った。「SDGs すごろく」を使って楽しみながら学ぶことができた。



#### <児童の感想>

- ・すごろくで遊びながら SDGs を知ることができてよかった。
- ・目標 6「安全な水とトイレを世界中に」が自分にもできるのではないかと思った。水道の蛇口をきちんと閉めるなど、これからはもっと意識していきたい。
- ・自分にできそうなことは、ビニール袋をあまり使わないこととゴミを少なくすることです。

・未来のために、ごみの分別や水をむだ使いしないなど自分にできることをやっていきたいと思えます。SDGs は、未来を守ることだと思いました。

#### 3 給食の残菜を減らすためにできることを考え、行動する。

給食委員会の活動では、給食の残菜を減らすことを目標にして活動を行った。目標 1「貧困をなくそう」、目標 2「飢餓をゼロに」、目標 12「つくる責任つかう責任」について調べ、調べたことをクイズにして 1 年生から 4 年生までのクラスへ行ってクイズを出題し、残菜が多いことを知らせることができた。



### 学びが行動につながったポイント

- ① 自分にできることは何かを考え、気づき実践することができた。
- ② 児童が学んだことをもとに、学校行事で家庭に発信することができた。







持続可能な社会づくりを郡山市から！ 学びを行動につなげよう！

実践例 36

## 福島の安心・安全な環境を考えよう

郡山市立富田西小学校 第5学年 総合的な学習の時間・学校行事

| 基本データ   | テーマ・活動のねらい 等  |
|---|---|
| 関連する SDGs の目標：<br><br>  | <b>【テーマ】</b><br>未来のために、福島の安心・安全な環境を考えよう<br><br><b>【活動のねらい】</b><br>東日本大震災と原発事故により県内は甚大な被害を受け、今も避難を余儀なくしている問題がある。さらに、異常気象による自然災害に備える必要もある。震災や防災について正しい知識や理解を図りながら、防災意識を高めていきたい。 |

### 取組・活動の概要

#### 1 東日本大震災と原発事故後の対応から放射線について考える。

9月4日(水)、コミュタン福島の見学学習を通して、東日本大震災の被害のこと、その後の放射線の問題のこと、現在の環境問題のこと、再生可能エネルギー等について多くのことを学んできた。その中で、放射線が環境に与える影響や震災後の除染の取り組み状況やその困難さについて、展示資料を見学したり、所員の説明を聞いたりすることで、具体的に理解を深めることができた。



#### 2 防災と環境保全について考えよう。



10月10日、11日に宿泊学習を実施し、県立博物館では、震災当時の様子を学芸員の方から話を聞き、地震や台風、火山や洪水等の自然災害から身を守るためにはどんなことが必要か、防災について考えることができた。また、磐梯青少年交流の家でのネイチャーゲームや五色沼ハイキングを通して、豊かな自然に触れることで、児童一人一人が自然の恩恵や豊かさを未来につないでいきたいという思いを強く抱いた。

#### 3 守ろう！未来の環境（発表会）

10月26日(土)に、総合的な学習の時間で取り組んできた「守ろう！未来の環境」について、一人一人が未来の環境を守っていくために考えたことを発表した。再生可能エネルギーの有効性や身近にできるソーラーパネルの活用の紹介、海の環境破壊につながるプラスチックごみの削減や温暖化防止のための可燃ごみの削減等、自然災害に備えた対策や身の周りの物の代用例などをまとめ、問題点や改善に向けた実践例を地域や保護者に発表した。



### 学びが行動につながったポイント

- ① 見学や体験を通して、福島の環境の現状とその課題をとらえることができた。
- ② 未来の環境を守るためにできることを主体的に考え、発信することができた。









## 実践例 37

持続可能な社会づくりを郡山市から！ 学びを行動につなげよう！

# 「人権」について考える（人権教室）

郡山市立大槻小学校 第3学年 総合的な学習の時間

| 基本データ   | テーマ・活動のねらい 等  |
|---|---|
| 関連する SDGs の目標：<br>  | <b>【テーマ】</b><br>人権について共感的に理解し、誰に対しても公正、公平に接することの大切さを実感することができる。<br><b>【活動のねらい】</b><br>友達や家族、地域の人々とのかかわりを見つめ、人々とのかかわりを見つめ、人々の生きる姿や自己の生き方について考える。 |

### 取組・活動の概要

- 1 人権擁護委員の方々をゲストティーチャーとして招き、人権とは何か、人権について学ぶことがなぜ大切なのかについて考える。

人権擁護委員の方々をゲストティーチャーとしてお招きし、人権についての授業を実施した。冊子「種をまこう」や紙芝居「ぼくのきもち きみのきもち」を通して、相手の気持ちを考え、人権を守ることの大切さについて学習した。



- 2 教材文『ぼくのきもち きみのきもち』をもとに、いじめられている子の気持ちや、いじめている子との接し方について考える。

子ども達は、紙芝居『ぼくのきもち きみのきもち』をもとに、いじめられているシバオの気持ちや、誰も何も言えないいじめっ子がいたらどうするかなどについて考えた。いじめられているシバオのつらい気持ちに寄り添いながら、もし自分がいじめられていたらという視点で人権について考えることができた。また、誰も何も言えないいじめっ子がいたらという問いに対して、みんなと協力していじめられている子を守るという考えを持つことができた。



- 3 「自分の命・みんなの命を大切にすること」や「みんなとなかよくすること」について考えを深める。

自分の命を大切にすることがみんなの命を大切にすることにつながることや、本校のスローガンである『日本一仲の良い学校』について、自分事として考えを深めることができた。

### 学びが行動につながったポイント

- ① いじめや仲間外れの問題について人権という新たな視点から考えることができた。
- ② 『日本一仲の良い学校』づくりについて自分たちができることを考えることができた。







持続可能な社会づくりを郡山市から！ 学びを行動につなげよう！

実践例 38

ミニトマト おいしく食べようプロジェクト

郡山市立白岩小学校 第2学年 生活科・学級活動

| 基本データ   | テーマ・活動のねらい 等  |
|---|---|
| 関連する SDGs の目標：<br>  | <b>【テーマ】</b><br>ミニトマト おいしく食べようプロジェクト<br><b>【活動のねらい】</b><br>バランスのよい食事が健康な体をつくることを知り、好き嫌いなく食べることの大切さに気づかせる。また、世界の食料支援量より日本の食品廃棄量の方が多いことを知り、食べ物などの資源を大切にしようとする態度の育成を目指す。 |

取組・活動の概要

1 食育の学習で学んだことを生かして、苦手な食べ物でもおいしく食べる方法を考える。

栄養士の先生による食育の授業において、好き嫌いせず食べることで健康になり、元気に毎日を送ることができることを学んだ。苦手な食べ物でもおいしく食べるには、「一口食べてみる」「好きなものと合わせて食べてみる」「好きな味付けにしてみる」「育てたり収穫したりしてみる」「お腹を空かせておく」「感謝の気持ちで食べてみる」「おいしいと思って食べてみる」などの方法があることを、教えていただいた。



2 育てたミニトマトを使って、甘いデザートを作り試食してみる。



生活科の学習で育てたミニトマトだが、「嫌い」という児童や、「食べられるが苦手」という児童が半数ほどいた。愛情をこめて育てたミニトマトを、どうにかしておいしく食べたい。そんな児童の願いから、食育の授業で学んだ方法から実践できることはないか考え、「好きな味付けにしてみる」という方法で調理することにした。はちみつとレモンにつけたミニトマトは、酸味がなくなり甘いデザートになった。苦手な児童も、「トマトじゃないみたい」と嬉しそうに食べていた。

3 これまでの取り組みを「白岩フェスティバル」で発表し、全校生に向けて提案する。

食育の授業で学んだ「苦手なものでもおいしく食べる方法」の紹介、実際に作って食べてみたときの報告なども含めて、秋の「白岩フェスティバル」で劇にして発表した。「地球上には、お腹を空かせている子どもたちがたくさんいる」「大地の恵みに感謝して野菜をおいしく食べよう」と、全校生に発信することができた。



学びが行動につながったポイント

- ① 偏食がちな児童が、頑張って野菜を食べきろうと努力するようになった。
- ② 児童が学んだことをもとに、学校行事を通じて全校生に発信できた。








持続可能な社会づくりを郡山市から！ 学びを行動につなげよう！

実践例 39

わたしたちのくらす社会について考えよう

郡山市立東芳小学校 第5学年 総合的な学習の時間

| 基本データ   | テーマ・活動のねらい 等   |
|---|--|
| 関連する SDGs の目標：<br>  <br>など | <b>【テーマ】</b><br>わたしたちのくらす社会について考えよう<br><b>【活動のねらい】</b><br>SDGs についての基本的事項を学び、理解を深める。またそれを自分事としてとらえられるように、学校や家庭、地域で「今すぐできる取り組み」を考え、実践・発信する。 |

取組・活動の概要

1 SDGs の基本的事項や、具体的な取り組みについて知る。

総合的な学習の時間「わたしたちのくらす社会について考えよう」では、外部講師をお招きし、SDGs のことや各企業での取り組みなどについてお話を伺った。(株式会社明治、ソフトバンク)

また、コミュニティ福島見学では、震災学習と合わせて SDGs について学習し、自分たちにできることは何かを具体的に考えた。



2 学んだことをもとに SDGs について自分たちが今すぐできそうなことを考え、伝える。

学習発表会「東芳まつり」の際には、これまで学んだことをもとに、「わたしたちにできること」というテーマのもと5つのグループに分かれて SDGs に関する発表を行った。(①節水グループ②節電グループ③通学路のごみグループ④アップサイクルグループ⑤給食グループ)

発表にあたり、歯みがきの時にできる節水や給食の残菜を減らす取り組み、通学路に落ちているごみを無くしていくことなどについて、自分たちが今すぐできることをグループごとに考えていった。それをタブレット端末を使ってまとめ、会場のお客さんに発信することができた。



学びが行動につながったポイント

- ① SDGs について学んだことをもとに、自分たちの身近な課題を考え、それぞれが「今すぐできること」としての取り組みを考えることができた。
- ② 児童が学び考えたことを、学校行事で外部に発信することができた。







持続可能な社会づくりを郡山市から！ 学びを行動につなげよう！

実践例 40

## 自分たちができる SDGs を考える

郡山市立桜小学校 SDGs 委員会（5，6 学年）

| 基本データ   | テーマ・活動のねらい 等  |
|---|---|
| 関連する SDGs の目標：<br><br>  | <b>【テーマ】</b><br>自分たちにできることを、自分から。<br><br><b>【活動のねらい】</b><br>「全校生が SDGs に興味をもてるように、一人ひとりが責任をもって活動しよう」というめあてを立て、SDGs の考えや活動を広めることをねらいとして活動を進めた。 |

### 取組・活動の概要

#### 1 SDGs について自分たちができることを話し合う

SDGs 委員会において、SDGs について学び理解を深めた後に、自分たちにできる SDGs について話し合い、意見を出し合った。「エコキャップ集め」「エコパトロール」「ポスター作り」「劇」「SDGs クイズ」「花壇の整備と植物の世話」「朝の掃除」等様々な意見が出され、実現可能なものを話し合った。その結果、今年度は「SDGs クイズ」「花壇の整備と植物の世話」「朝の掃除」の3つから活動を始めことにした。後日、放送にて全校生に活動内容を周知した。



#### 2 SDGs を全校生に知ってもらうための取り組み



SDGs について全校生に知ってもらい、理解を深めるために、給食の時間の放送で SDGs クイズを出す取組を始めた。SDGs 委員が SDGs に関するクイズを作成し、毎週金曜日にクイズを出題している。低学年にも分かるように、また、SDGs を身近に感じてもらえるように、工夫したクイズを作成している。クイズを聞いている児童も、各クラス楽しみながら答える様子がみられ、SDGs への興味や関心を高めることができています。

#### 3 SDGs につながる活動を続ける

「年間を通した花壇の整備や苗植え、水やり」「年始の書き損じはがきの寄付の呼びかけ・回収」等、自分たちができる活動を行ってきた。これらの活動が SDGs にどうつながるかを考え、全校生にも周知しながら、SDGs の考えを広めてきた。



### 学びが行動につながったポイント

- ① SDGs への理解を深め、自分にできることを探して積極的に活動することができた。
- ② 活動を通して、全校生の SDGs への興味や関心を高めることができた。






持続可能な社会づくりを郡山市から！ 学びを行動につなげよう！

実践例 41

## 桑野小学校 5R プロジェクト

郡山市立桑野小学校 第5学年 総合的な学習の時間

| 基本データ   | テーマ・活動のねらい 等  |
|---|---|
| 関連する SDGs の目標：<br> | <b>【テーマ】</b><br>「つくる責任，つかう責任」ってなんだろう？豊かな未来のために！<br><b>【活動のねらい】</b><br>本の査定体験や店舗体験を通して，リユースについての理解を深め，物を大切にする循環型社会にむけて，自分たちができることを考える。 |

### 取組・活動の概要

#### 1 ブックオフ査定の秘密を探ろう。



ブックオフスタッフの方とオンラインでつながり，本の査定の基準について学んだ。自分たちで本の査定をして，その金額と根拠をスタッフの方にプレゼンし，査定のポイントを教えていただいた。

ブックオフの店舗では，値段のつかない本もなぜ無料で引き取っているのかを話し合い，資源の無駄をなくそうという考え「リユース」，「リサイクル」の大切さに気付くことができた。

#### 2 学校ブックオフを開こう。



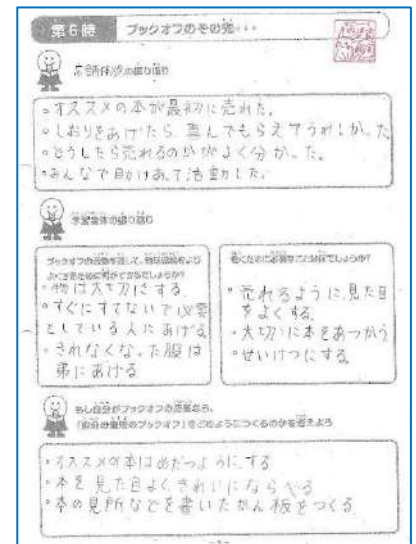
家で不要になった本を持ち寄り，店舗体験「学校ブックオフ」を行った。査定で学んだことを活かしながら，より本が売れる（＝リユースが進む）ように，商品のレイアウトやセール品などを工夫する姿が見られた。

#### 3 5R に広げよう。



学校ブックオフ終了後，本以外のリユースやリサイクルなどテーマを「5R」に広げ，調べ学習に取り組んだ。学校行事

「くわのっ子文化祭」で「ごみ」「食品ロス」「服」「身近な企業の取り組み」などグループごとのテーマで発表を行った。自分たちでできる取り組みを参観の保護者や他学年の児童に伝えることができた。



### 学びが行動につながったポイント

- ① 身近な生活から物の大切さに気付き，自分たちにできることを考えることができた。
- ② 体験して得た学びから新たな課題を捉え，調べ学習や発表に取り組むことができた。






持続可能な社会づくりを郡山市から！ 学びを行動につなげよう！

実践例 42

## 住みよいくらし「水はどこから」？

郡山市立大島小学校 第4学年 社会科・総合的な学習の時間

| 基本データ   | テーマ・活動のねらい 等  |
|---|---|
| 関連する SDGs の目標：<br> | <b>【テーマ】</b><br>住みよいくらし「水はどこから」？<br><b>【活動のねらい】</b><br>私たちが普段使っている水が、どこから来て、どのように作られ、どのように処理されているのかを知り、水の必要性を理解するとともに水を大切に使用しようとする気持ちを養う。 |

### 取組・活動の概要

#### 1 十六橋水門・上戸取水口の見学

「郷土を学ぶ体験学習」を使って、十六橋水門と上戸取水口を見学した。子どもたちは、施設の迫力に圧倒されるとともに、先人の功績と水に対する思いを肌で感じる事ができた。



#### 2 堀口浄水場・県中浄化センターの見学



堀口浄水場では、猪苗代湖の水を、きれいで安心して飲める水にする仕組みについて、説明を聞いたり、施設を見学したりすることで知ることができた。また、県中浄化センターでは、汚れた水がどのような処理を経て、再びきれいな水となり、川へ放流されるのか説明を聞いたり、施設を見学したりすることで知ることができた。

#### 3 下水道ポスターコンクールへの応募

学習のまとめとして、福島県下水道公社主催の「下水道ポスターコンクール」に学年全員で応募した。一人ひとりが感じた水への思いを絵に表すことにより、より水を身近なものとして捉えるとともに必要性や大切さを改めて実感することができた。



### 学びが行動につながったポイント

- ① 水の必要性、大切さを改めて実感するとともに、世界的な水に関する課題に対しても興味関心を広げることができた。
- ② 下水道ポスターコンクールへの応募を通し、各自の水に対する思いを発信することができた。






実践例 43

# 人権の種をまこう

郡山市立緑ヶ丘第一小学校 第3・4学年 特別の教科道徳

| 基本データ   | テーマ・活動のねらい 等   |
|---|--|
| 関連するSDGsの目標：<br> | <b>【テーマ】</b><br>人権の種をまこう<br><b>【活動のねらい】</b><br>人権擁護委員を招聘し、「友情」「信頼」「いじめ」等、人権に関することについて考える人権教室を通して、人権を尊重することの大切さを学ぶとともに、思いやりの心や他者を尊重したかかわり方について理解を深める。 |

## 取組・活動の概要

### 1 3学年「勇気あるホタルと とべないホタル」(やさしさ・思いやり 友情 障がい者の人権)



【3年生人権教室】

昨年度までは、4～6年生対象に行っていた人権教室を、今年度から、3年生からの実施とした。理由としては、仲間意識が強くなり、友だち関係のトラブルも増えてきたり、ルールや決まりに対し反発したりする、所謂「ギャングエイジ」と呼ばれ始める3年生から、人権意識をもたせ、他者を考えた行動がとれるようにしたいと考えたからである。

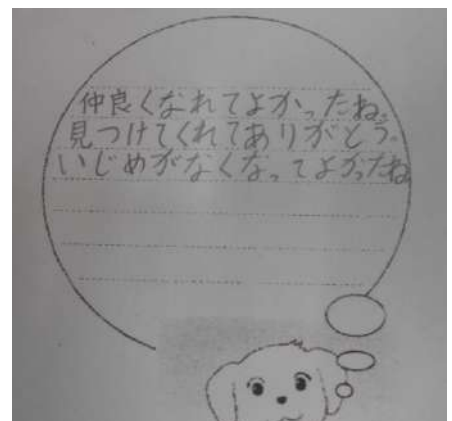
資料「勇気あるホタルと とべないホタル」を活用し、羽が縮んで生まれ、飛べない仲間のホタルをかばう勇気あるホタルの姿を基に、それぞれの立場に立った思いや考えを

想像した。その中から、他者に対するやさしさや思いやりをもった行動について自分事として考えることができた。

### 2 4学年「プレゼント」(いじめ 思いやり)

なかなか人権について考える機会がなく、3年生同様、仲間意識が強くなることでいじめを含めたトラブルが起こりやすくなる4年生に、人権意識をもたせていくための学習である。

資料「プレゼント」は友だちに送った手作りの誕生日プレゼントを発端としたクラスのいじめの話である。一人の友だちからのいじめが、仲のよかった友だちにまで広がっていった中、いじめる側、いじめられる側、まわりで見ている側の気持ちを想像することで、友だちとのかかわり方や思いやりについて深く考えることができた。



【4年生人権教室ワークシート】

## 学びが行動につながったポイント

- ① 自分本位な考え方から、相手を意識した考え方や接し方ができるようになってきた。
- ② 相手を思いやる言葉かけや手助け等、自然とできる児童が増えてきた。







持続可能な社会づくりを郡山市から！ 学びを行動につなげよう！

実践例 44

# 体の不自由な方のことを知ろう

郡山市立小山田小学校 第4学年 総合的な学習の時間

| 基本データ   | テーマ・活動のねらい 等   |
|---|--|
| 関連する SDGs の目標：<br>  | <b>【テーマ】</b><br>体の不自由な方のことを知ろう<br><b>【活動のねらい】</b><br>体の不自由な方と交流し、目や耳について理解し、思いやりの心を育み、障がい者の方の役に立とうとする心情を高める。 |

## 取組・活動の概要

### 1 ユニバーサルデザインについて学ぶ

市役所の生涯学習課の方にお越しいただいて、ユニバーサルデザインについて学んだ。「①ユニバーサルデザインとは何か」「②老人体験」「③車いす体験」「④全盲体験」それらを一つ一つ体験し、障がい者の気持ちになって学びを深めた。③の車いす体験と④の全盲体験では、障がい者役と介助者役両方を体験し、介助の大切さ難しさも同時に学ぶことができた。

### 2 盲導犬ユーザーの話を聞く



郡山市内在住の盲導犬ユーザーの方をお招きし、視覚障がい者や盲導犬ユーザーの生活の話や、盲導犬との生活について話を聞いた。視覚障がい者の方は普段どんな生活を送り、どんなことに困っているのか、どのように手を差し伸べてくれると嬉しいのかなど、具体的な話を聞くことができた。また、実際に盲導犬の働きを目の前で見て、触れ合うことで、盲導犬や視覚障がい者についての興味関心が高まった。

### 3 手話教室で手話を体験する。

NPO 法人郡山市聴覚障がい者協会の方と手話通訳者の方をお招きし、聴覚障がい者の生活についての話を聞いたり、実際に手話を体験したりする活動に取り組んだ。

聴覚障がい者のコミュニケーションは手話だけでなく、指文字や筆談、空書や口話など様々な手段があることを知ることができた。手話体験では、自分の名前や日常の挨拶を手話で表現することを学んだ。



## 学びが行動につながったポイント

- ① 様々な体験や学習を通して障がいについての理解を深め、周りの困っている人に対して自分のできることを考え、実践しようとする意識が高まった。
- ② 障がい者の方が希望をもって生活していることを具体的に理解することで、自分も目標をもち、それに向かって生きていこうという意識が高まった。









## 実践例 45

持続可能な社会づくりを郡山市から！ 学びを行動につなげよう！

# 男女仲良く/エネルギーをみんなに

郡山市立大成小学校 第3学年 特別活動

第4学年 社会科・総合的な学習の時間

| 基本データ   | テーマ・活動のねらい 等  |
|---|---|
| 関連する SDGs の目標：<br><3年>  ジェンダー平等を<br>実現しよう<br><4年>  エネルギーをみんなに<br>そしてクリーンに | <b>【テーマ】</b><br>3年 男女仲良く～男の子の色と女の子の色ってあるのかな～<br>4年 エネルギーをみんなに そしてクリーンに<br><b>【活動のねらい】</b><br>3年 決めつけた考え方にしばられずに、お互いを認め合い<br>ながら生きていくことの大切さについて学ぶこと。<br>4年 身近な施設を見学し、ゴミ問題や温暖化の問題を意識<br>して生活する知識を身につけること。 |

### 取組・活動の概要

#### 第3学年 養護教諭と担任の T. T による男女平等についての授業実践

- ・ジェンダーという言葉やその具体例（見た目や得意なことなど）を知った。そのうえで、女らしさや男らしさを決めつけずに仲良くしていくためにはどうすればよいか考えた。



- ・「すきなものは一人一人ちがう」「決めつけはよくない」などと考え、今回学んだことをこれからの生活に生かそうとする姿が見られた。



#### 第4学年 クリーンセンターや水力発電所の見学

- ・クリーンセンターでは、ペットボトルをリサイクルして作られたワイシャツを見て、その品質の高さに驚いていた。実際に見ることで、再生資源への関心をより高めることができた。



- ・水力発電は火力発電と違い、二酸化炭素を一切発生させないことを知り、「これはいいな！」と感じていた。環境問題に目を向け、これからの発電の在り方を一人一人が考えるきっかけとなった。

#### 学びが行動につながったポイント

第3学年：性別にとらわれずに、お互いを認め合うことが大切だと考えることができた。

第4学年：ゴミの分別をしようとする意識が高まった。







## 実践例 46

持続可能な社会づくりを郡山市から！ 学びを行動につなげよう！

# できることからはじめよう SDGs

郡山市立朝日が丘小学校 第4学年 学級活動

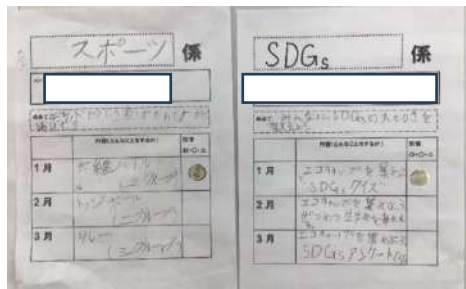
| 基本データ   | テーマ・活動のねらい 等   |
|---|--|
| 関連する SDGs の目標：<br>  | <b>【テーマ】</b><br>日常の中の「SDGs」の取り組み<br><b>【活動のねらい】</b><br>持続可能な社会づくりのために、自分たちにできることは何かを児童が自ら考え、行動しようとする態度や実践力の育成を目指す。 |

### 取組・活動の概要



クラスみんなで重点的に取り組むめあてについて話し合い、8つの実践目標を決めた。

社会科の見学学習で堀口浄水場と富久山クリーンセンターを見学した。



見学学習で郡山市の環境について学んだ後、子どもたちから、学級の係活動の一つに「SDGs」係を作ろうという発案があった。係として「SDGs」クイズやエコキャップ集めなどに取り組んでいる。

### 学びが行動につながったポイント

- ① 持続可能な社会づくりのために、自分たちにできることは何かを児童が話し合い、自ら考え行動することができた。
- ② 見学学習で郡山市のごみ問題について知り、ごみの分別やリサイクルの必要性を実感した子どもたちは、家庭や学校の日常生活でも取り組もうという意識を持って行動している。






持続可能な社会づくりを郡山市から！ 学びを行動につなげよう！

実践例 47

# 海老根和紙ができるまで

郡山市立宮城小学校 第3～6学年 総合的な学習の時間

| 基本データ   | テーマ・活動のねらい 等   |
|---|--|
| 関連する SDGs の目標：<br><br> | <b>【テーマ】</b><br>海老根和紙作りから、環境問題や古くから地域につたわる伝統や歴史についての理解を深める。<br><br><b>【活動のねらい】</b><br>和紙の原料となるトロロアオイの「植ええ」から始まり、「収穫」そして卒業証書となる和紙の「紙漉き」までを行う活動を通じて、環境問題への気付きや地域の伝統文化への理解、郷土への愛情や誇りを児童がもてるようにする。 |

## 取組・活動の概要

1 「植ええ」「草刈り」「収穫」など、体験的な学びから環境問題への気付きを深める。

児童たちは和紙作りを体験するため、海老根和紙保存会の方々から教えていただきながら、和紙の原料となる「トロロアオイ」の植ええから始め、年間を通じて活動に取り組んだ。

春に種を植え、夏には草刈りや水やりを行い、秋に収穫、茎から繊維を取り出し紙漉きに挑戦する。この過程で、紙を作るために多くの木が必要であることに気付き、資源を大切にすることや環境への配慮についても考える機会となった。植物の成長や紙作りの手間を通じて、自然の大切さを学ぶことができた。



刈り取り作業を行う児童の様子

2 紙漉き体験から、先人の人々の努力への気付きや郷土への愛情や誇りをもつ。



紙漉きを行う児童の様子

児童たちは和紙作りを通じて、植物の育成から紙漉きまでの全工程を学んだ。この体験を通じて、紙を作るには多くの時間と労力が必要であり、先人たちの努力の偉大さを感じることができた。また、昔から続く紙作りの技術に触れ、郷土の伝統を受け継ぐ大切さや、それを守ってきた人々への感謝の気持ちが芽生えた。

今後、作った和紙は自分たちの卒業証書になる。児童にとって卒業証書は特別な思い出とともに、郷土の文化を実感するものであり、自分たちの手で作り上げた成果が形となって残る。



### 学びが行動につながったポイント

- ① 紙の無駄遣いを減らす意識が芽生え、環境に配慮した行動を取るようになった。
- ② 地域の伝統行事や文化に積極的に参加し、郷土を守る活動に関心を持つようになった。






## 実践例 48

持続可能な社会づくりを郡山市から！ 学びを行動につなげよう！

# 海老根和紙から地域の未来を考える

郡山市立海老根小学校 第3～6学年 総合的な学習の時間

| 基本データ   | テーマ・活動のねらい 等  |
|---|---|
| 関連する SDGs の目標：<br><br> | <b>【テーマ】</b><br>地域の特色やよさを発信しよう<br><br><b>【活動のねらい】</b><br>海老根和紙作りやその活動について発信する活動を通して、地域の活性化や文化保存への貢献、地域の社会問題や環境課題に対する関心を高め、積極的に取り組む姿勢を育てることを目指す。 |

### 取組・活動の概要

#### 1 海老根和紙づくり（トロロアオイ・楮の栽培と収穫，和紙漉ぎ）

6月には海老根和紙保存会の協力を得て、海老根和紙の歴史について学び、トロロアオイの種まきを行った。6月から11月にかけては、和紙の材料となるトロロアオイや楮を自分たちで栽培・収穫した。身長の数倍もある楮を収穫するのは大変だが、海老根和紙に誇りを持ち、一生懸命作業に取り組む姿が見られた。6年生が漉いた和紙は、自分の卒業証書となる。



#### 2 地域の行事「秋螢」への参加



9月には地域で行われる行事「秋螢」に参加した。祖父母・保護者ふれあい参観では、保護者と一緒に和紙の灯籠を作り、「秋螢」に出品した。また、「秋螢」開催に携わる祖父母の手伝いを通して地域の伝統行事を守る大人の姿に触れ、「地域の文化を自分たちで守っていききたい」という思いを抱く児童も見られた。

#### 3 鳥取の小学校との和紙交流学习の実施（5，6年）

郡山市との姉妹都市である鳥取市と、オンラインで「和紙」をテーマにした交流学习を行った。まず、市の国際政策課の方に鳥取市と郡山市のつながりについて事前学習会を実施していただき、なぜ姉妹都市であるのかを理解した。オンライン学習会では、鳥取市の3校と郡山市の2校が参加し、本校は海老根和紙づくりの活動を紹介した。それぞれの発表から、各自が地域の伝統文化を大切にしていることが伝わった。この交流を通して、相手の文化のよさを知るだけでなく、自分たちの海老根和紙のよさについても再認識することができた。



### 学びが行動につながったポイント

- ① 海老根和紙づくりの活動や地域行事「秋螢」への参加を通して、自分たちで伝統文化を守っていこうという気持ちをもつことができた。
- ② 鳥取市との交流学习を通して互いの文化を知ることによって、自分たちの地域の伝統文化のよさを再認識することができた。







## 実践例 49

持続可能な社会づくりを郡山市から！ 学びを行動につなげよう！

# 平和で公正な世の中にするために

郡山市立御館小学校 第3～6学年 社会科・総合的な学習の時間

| 基本データ   | テーマ・活動のねらい 等   |
|---|--|
| 関連する SDGs の目標：<br>  | <b>【テーマ】</b><br>国際交流を通して、平和な世界・平和な未来を考える<br><b>【活動のねらい】</b><br>互いの国や人の良さを理解し、積極的に国際交流ができる。また、他国との文化や魅力を共存することで、自分の地域の良さをみつめて、自分たちでこれから取り組むべきことを考え、実行する能力や態度を育てる。 |

### 取組・活動の概要

#### 1 台湾の小学校との交流を図り、互いの国の魅力を語る場の設定。

郡山市国際政策課との協力で、来日している台湾 實人（シ-リ）教育小学校33名と対面での交流会を開いた。その日までに児童は、お互いの国や地域の特徴や良さをまとめ、言葉が違う相手に分かりやすく説明をすることを考えて準備を進めてきた。写真や映像をタブレット端末を使ってお互いの国の言葉を少し覚えて、故郷の紹介をし合った。はじめは互いに緊張していた様子だったが、お互いの発表を驚きの表情や相槌をしながら表現して、交流が図れた。



両国の学校生活や文化のちがいや共通するところを共有し、あらためて、自分の地域のよさをかみしめることができた。郡山市の民芸品で有名な高柴デコ屋敷のお面作りをすることで、台湾の児童と片言の言葉でコミュニケーションをとることもでき、最後は、みんなでお面をかぶって踊りあかし楽しく交流が図れた。台湾や外国に興味を持った児童も多くいた。

#### 2 自分たちの地域の良さを発信し、その良さを守りつづけることを考えよう。

国際政策課の協力を得て、姉妹都市の鳥取市の児童とオンラインで互いの地域の魅力を紹介し合う活動を行った。地域の伝統芸能「柳橋歌舞伎」を自分の顔に隈取をして紹介したり、地元産業のトロロアオイとコウゾを育て、自分たちが作った「海老根和紙」を紹介したりした。鳥取市の名産「因州和紙」を送ってもらい、海老根和紙と因州和紙でうちわを作り、コラボ作品として、互いの良さを共有し合う活動をした。



### 学びが行動につながったポイント

- ① 自然豊かな自分の住む地域の素晴らしさを再認識し、守ろうとする心情が育った。
- ② 国際交流の活動を通して、多文化にふれ、コミュニケーション力が高まった。









持続可能な社会づくりを郡山市から！ 学びを行動につなげよう！

# SDGs をわたしたちから

郡山市立日和田中学校 第1学年 総合的な学習の時間

| 基本データ  | テーマ・活動のねらい 等  |
|--|---|
| 関連する SDGs の目標：<br> <br>  | <b>【テーマ】</b><br>SDGs をわたしたちから<br><b>【活動のねらい】</b><br>SDGs について体験的な学習を通して全般的に学習し理解を深める。また学習した内容を学校生活や家庭生活の中に生かしていくための計画や実践する能力・態度を育成する。 |

## 取組・活動の概要

### 1 SDGs 講演会の実施

郡山市担当課職員を講師にお招きして、国際目標 SDGs についての基本的な考え方を理解するとともに、世界、日本そして郡山市の SDGs に関する取り組みを知り、自分たちが意識すべきことや取り組んでいくべきこと等について考える時間を設定しました。



### 2 “コミュタンふくしま”における体験学習



SDGs 講演会をふまえ、コミュタン福島で放射線や福島の実況に関する展示を見学、学習することで身近な視点から理解することによって環境の回復への意識を深めることや、環境に関する様々な取り組みを知り、自分たちが意識すべきことや取り組んでいくべきこと等について考える良い機会となりました。

### 3 学校内での取り組み

本校では、1年生からの継続的な ESD を通して、SDGs の取り組みを行っています。活動の中心は生徒会活動を通して推進しており、各専門委員会が 17 の達成目標に沿った活動内容を計画的に進めています。右の写真は生徒会本部がペットボトルのキャップを回収し、ワクチンを提供する取り組みの様子と給食委員会で残菜ゼロを目標に掲げることで、全校生にゴミ削減や無駄をなくすことを意識させる取り組みの様子です。



## 学びが行動につながったポイント

- ① 身近な地域のゴミ問題と世界規模の課題を自分事として考えることができた。
- ② 生徒が学習した内容について、学年便りやホームページ等で各家庭に発信できた。






持続可能な社会づくりを郡山市から！ 学びを行動につなげよう！

実践例 51

# 日常生活の身近なところから始めよう

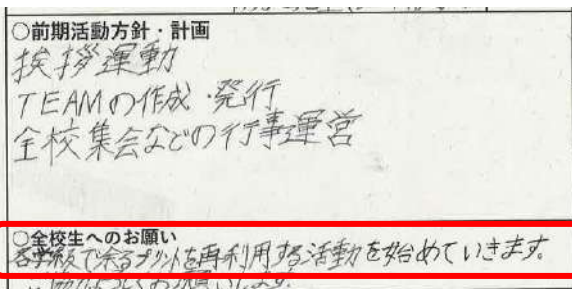
郡山市立行健中学校 生徒会活動

| 基本データ   | テーマ・活動のねらい 等   |
|---|--|
| 関連する SDGs の目標：<br><br> | <b>【テーマ】</b><br>日常生活の身近なところから始めよう<br><br><b>【活動のねらい】</b><br>現在、世の中で起こっている様々な問題の解決に向けて、日常生活の身近なところから自分たちが取り組んでいけることを考え、行動に移していくことを通して、持続可能な社会の創り手としての自覚を深め、よりよい社会を創っていかうとする態度を育成する。 |

## 取組・活動の概要

### 1 プリントの再利用を通じた用紙の節約とゴミの量の削減への取組

全校生で SDGs に取り組んでいけることを生徒会執行部を中心に検討し、学校で利用されるプリントを再利用して、用紙の節約やゴミの量の削減に取り組んでいこうと考えた。5月の生徒会総会で、生徒会執行部から全校生に提案し、承認を得て活動を始めた。校舎内の各階にプリントの回収ボックスを設置し、両面刷りと片面刷りに分けて回収している。片面刷りのプリントは、裏面を生徒会の意見箱用の用紙に活用したり、アンケート用紙に利用したりと再利用に取り組んでいる。また、両面刷りの用紙は燃えるゴミではなく資源ゴミとして分別するようにし、ゴミの排出量の削減を図った。



### 2 給食の残菜削減に向けた取組

給食委員会を中心に給食残菜の削減に取り組んでいる。その日の残菜量を写真に撮り、校内に掲示することで、残菜量の削減に向けて、生徒一人一人の意識を高めていく工夫をした。12月の残菜量の記録から、郡山市内の中学校の残菜量平均を下回る成果が得られている。

|       | 残菜量/日   | 残菜量/人・日 |
|-------|---------|---------|
| 行健中学校 | 10.27kg | 21.71g  |
| 全体平均  | 15.46kg | 43.52g  |



## 学びが行動につながったポイント

- ① 生徒主体の行動から、用紙の節約やゴミの量の削減への意識化が図られた。
- ② 残菜量の可視化と継続した掲示活動により、残菜量削減の意識が浸透した。






持続可能な社会づくりを郡山市から！ 学びを行動につなげよう！

実践例 52

## SDGs と関連付けた生徒会活動

郡山市立明健中学校 特別活動（生徒会活動）

| 基本データ   | テーマ・活動のねらい 等   |
|---|--|
| 関連する SDGs の目標：<br> | <b>【テーマ】</b><br>生徒会専門委員会の活動を通して SDGs を実践しよう！<br><b>【活動のねらい】</b><br>専門委員会ごとに生徒が話し合い、SDGs の 17 の目標を基に活動目標を考え、日々活動を実践することによって、自分たちにとって身近な学校生活から SDGs への意識を高め、家庭や地域での実践力につなげる。 |

### 取組・活動の概要

#### 1 生徒会総会や文化祭要項等のペーパーレス化への取組

「12 つくる責任 つかう責任」を基に、資源の節約やごみの減量化のため、生徒会総会や各種行事の要項・パンフレット等をタブレット端末を活用して全生徒・教職員に配信を行った。従来の紙媒体に比べ、印刷の手間を省くことができ、要項等の紛失や事後のごみ問題も解消することができた。また、総会要項は必要な時にいつでも見返すことができ、活動の活性化にもつながった。



#### 2 ポスター掲示による啓蒙活動



各専門委員会が設定した活動目標に応じて、ポスターを作成し校内に掲示するとともに、各学級での点検活動や校内放送等を活用した呼びかけ活動を行った。現在、給食の残食が大きな課題となっており、給食委員会や代表委員会を中心に対策を検討している。

#### 3 ボランティア委員会による募金活動やペットボトルキャップ回収の取組

「1 貧困をなくそう」や「3 すべての人に健康と福祉を」を基に、全校生に呼びかけて募金やキャップの回収に取り組んだ。趣旨に賛同し、多くの生徒・教職員が協力した。

### 学びが行動につながったポイント

- ① 活動により生徒の視野が広がり、目標を意識して生活する様子が見られた。
- ② 活動の様子をホームページにより、保護者や地域に発信することができた。








持続可能な社会づくりを郡山市から！ 学びを行動につなげよう！

実践例 53

# つくる責任・つかう責任を考えよう！

郡山市立安積中学校 給食委員会 環境委員会 全校集会

| 基本データ   | テーマ・活動のねらい 等  |
|---|---|
| 関連する SDGs の目標：<br> | <b>【テーマ】</b><br>つくる責任・つかう責任を考えよう！<br><b>【活動のねらい】</b><br>身近な問題の解決を目指した、さまざまな角度からの取り組みを通して、フードロス削減、CO <sub>2</sub> 削減、資源の再利用等、について考えを深め、実践していく力を養う。 |

## 取組・活動の概要

### 1 給食の残滓を削減するための給食委員会による「食ベリンピック」

本校では、給食の残滓が多いことが大きな課題となっている。給食委員会では、その削減のために、放送による呼びかけ、一定期間、給食の食べ残しの量を記録しての表彰、文化祭で自主制作の劇の放映を行う、「食ベリンピック」の取り組みを行い、フードロス削減に対する意識を高める活動を行った。



### 2 環境委員会による「コンタクトレンズ空ケース」の回収



環境委員会では、全校生徒へ各家庭で捨ててしまうコンタクトレンズのプラスチックケースを回収し、リサイクルに回す活動を行っている。この活動により、生徒のリサイクルに関する意識を高めるだけでなく、家族に呼びかけることによって、家庭での環境保全に対する意識が高まることが期待できる。

### 3 SDGs 新聞の配付と全校集会での呼びかけ

「中高生のための朝日 SDGs ジャーナル」を全校生分取り寄せ、配付した。配付は、全校集会で行い、校長が新聞を実際に見せながら、記事の内容にふれ、本校の課題である給食の残滓量の削減に結びつけて一緒に考え、意識を高める活動を行った。

## 学びが行動につながったポイント

- ① 生徒の委員会活動として行ったことにより、発信した委員の生徒の意識が大きく向上した。
- ② 生徒の意識が高まり、残滓量が削減し、コンタクトケースの回収量が増加した。







## 実践例 54

持続可能な社会づくりを郡山市から！ 学びを行動につなげよう！

# “届けよう、服のチカラ” プロジェクト

郡山市立安積第二中学校 全校生

| 基本データ   | テーマ・活動のねらい 等  |
|---|---|
| 関連する SDGs の目標：<br>  | <b>【テーマ】</b><br>“届けよう、服のチカラ” プロジェクト<br><b>【活動のねらい】</b><br>○紛争体験ワークを通して難民の生活をイメージし、国際理解を深める。<br>○生徒の創意工夫を生かして、子供服を集める活動を行い、その企画・運営を通して、自主的・実践的な態度を育てながら、SDGs について考えを深める。<br>○OPTA と協力して活動することにより、地域や保護者との親睦を深める。 |

### 取組・活動の概要

#### 1 出前授業において、プロジェクトの意義や活動の流れについて体験ワークを通して学ぶ。

7月5日（金）本校授業参観時に「ファーストリテイリング社」より講師を招へいし、出前授業を行った。紛争体験ワークを通して難民の生活をイメージすることができた。また保護者にも取り組みについて広く周知することができた。



#### 2 服の回収、仕分け、箱詰め、発送。

プリントの配布（デジタル）、ポスターの掲示、生徒による呼びかけ等を行いながら、9月9日（月）～10月3日（木）の期間で服の回収作業を行った。10月4日（金）にPTA 本部役員、教養委員、生徒、教員で服の仕分け作業、箱詰め作業を行い、10月10日（木）配達業者へ手渡した。



#### 3 校内文化祭で、全校生徒に成果を発表した。

10月25日（金）本校文化祭閉祭式において、プロジェクトの中心になって活動していた生徒達より、全校生、保護者に向けて活動の報告を行った。このプロジェクトを通して、自主的、実践的な態度を育てながら、SDGs について考えを深めることができた。



### 学びが行動につながったポイント

- ① 紛争地域の生活に思いを馳せ、服を持参するという行動につなげることができた。
- ② 全校生徒で取り組んだことを文化祭で外部に発信することができた。






持続可能な社会づくりを郡山市から！ 学びを行動につなげよう！

実践例 55

## 未来を変える一歩を三穂田から

郡山市立三穂田中学校 第1・2・3学年 総合学習の時間

| 基本データ   | テーマ・活動のねらい 等  |
|---|---|
| 関連する SDGs の目標：<br> | <b>【テーマ】</b><br>SDGs を学び、つなげる主体的な探究と協働<br><b>【活動のねらい】</b><br>生徒が興味・関心に応じて SDGs 17 の目標を選び、学年を越えた協働を通じて課題解決力を育むとともに、タブレットを活用した調査・発表により主体的な学びと情報活用能力の育成を目指す。 |

### 取組・活動の概要

1 生徒が自分の興味関心に応じて17の目標から選択し、主体的な学びを進める。

SDGs（持続可能な開発目標）は、2030年までに解決すべき17の目標で、貧困や環境問題、平等などが含まれていること。地球や社会を良くするためには、一人ひとりの行動が必要であることを理解し、自分の興味や関心に応じた目標を選び、その基礎知識や学校や家庭でできることについて考えた。



2 同じ課題を選んだ学年を越えたグループで、調査の視点や課題をまとめる。



目標番号とテーマを確認し、日本や世界の現状を知り、なぜ重要なのか、背景や影響も整理した。次に、国内外の事例を調べ、成功例と課題を比較し、効果的な方法を考えた。最後に、自分たちにできる行動を考え、持続可能な社会づくりへの意識を高めた。

3 まとめた内容を発表し、自身の取り組みや今後取り組みそうなことを発信する。

SDGsの実現に向けて、グループごとに発表した。学校や地域では、節電・節水、食品ロス削減、ゴミの分別などの取り組みが提案された。個人でも、エコバッグの利用やフェアトレード製品の購入など、小さな行動が大切だという意見が出た。また、将来の仕事や学びが科学技術や福祉、エネルギーなどの分野と関わることに気づいたグループもあった。発表内容は、タブレット端末を使って共有した。



### 学びが行動につながったポイント

- ① 学校や地域、個人でできる具体的な取り組みを考え、実践につなげる意識を持つことができた。
- ② 学んだことを発表したり、タブレット端末を活用して共有することができた。






## 実践例 56

持続可能な社会づくりを郡山市から！ 学びを行動につなげよう！

# SDGs への理解推進のための取り組み

郡山市立逢瀬中学校 全学年

| 基本データ   | テーマ・活動のねらい 等   |
|---|--|
| 関連する SDGs の目標：<br> | <b>【テーマ】</b><br>SDGs への理解推進<br><b>【活動のねらい】</b><br>SDGs を推進するために、自分たちで課題を見つけできる実践は何か、生徒会役員を中心として一人一人の生徒が主体的に取り組むことができる。 |

## 取組・活動の概要

### 1 SDGs について考え、実践できる活動に取り組む。

- ① 生徒会、専門委員会が中心になって SDGs について考え、実践できる活動に取り組んだ。各委員会で校内に SDGs 関連のポスターや掲示物を張り、啓発に取り組んだ。
- ② 11月26日には、地域の産業で活躍している逢瀬町河内にある柳田産業社長柳田栄喜様をお招きし、SDGs 講演会を開催した。テーマは「大切な自然・環境・資源を未来へ～循環型社会の構築へ～」とし、自分ごととして社会との関わりを考えることができた。
- ③ 食品ロス削減に向けた取り組みでは、残滓量を可視化している。給食だよりでの各学校の残滓量を比較し、意識の向上を図っている。

### 2 校内・校外に発信する。

校内の至る所に SDGs の 17 の目標を掲示するとともに、廊下に SDGs 17 の目標に関連した新聞記事やポスターを掲示した。さらに、家庭や地域に向けて SDGs の理解促進を図るため、学校ホームページ等で広く周知した。

校内の掲示物



柳田産業社長  
柳田栄喜様



食品ロス削減



## 学びが行動につながったポイント

- ① 生徒が地域の一員として社会とどう関わっていったらいいのか、身近にできることはどんなことかを考えることができた。
- ② 通常教育活動の中にも SDGs と関連していることが多いことに生徒だけではなく教師も気付くことができた。






持続可能な社会づくりを郡山市から！ 学びを行動につなげよう！

実践例 57

## 住み続けられるまちづくりを

郡山市立片平中学校 総合的な学習の時間

| 基本データ   | テーマ・活動のねらい 等  |
|---|---|
| 関連する SDGs の目標：<br><br> | <b>【テーマ】</b><br>住み続けられるまちづくりを<br><br><b>【活動のねらい】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・リサイクルの大切さや地域に貢献する大切さを学ぶ。</li> <li>・地域の人材を通して伝統文化の大切さを学ぶ。</li> <li>・バリアフリー社会の実現に向けて意識を高める。</li> </ul> |

### 取組・活動の概要

#### 1 地域参加型の資源回収活動の実施。

本校では、年1回の資源回収を行っている。各家庭および地域住民に「資源回収のお知らせ」を配付し、新聞紙・雑誌・段ボール・一升瓶・アルミ缶・牛乳パックなどリサイクル可能なものを集めている。地域の方々が各地区の集会所に資源物を持参し、生徒・保護者で学校に資源物を運んでくる。



#### 2 地域の伝統文化継承体験「うねめ太鼓」の実施。

本校では、伝統文化に学ぶ学習として、地域の特色でもある「うねめ太鼓」を実施している。地域人材（うねめ太鼓保存会）の指導を得て文化祭等で発表している。郷土愛や地域文化の継承を通して自信や感動を体得させ、豊かな心を育てている。

#### 3 聴覚支援学校との交流事業の実施。

##### 3学年「聴覚支援学校交流」

身体に障がいがある人について考え、出会いや交流を通して障がい者への理解を深めるため、聴覚支援学校との交流を毎年行っている。聴覚支援学校教員による事前指導、代表生徒による事前交流を通し、訪問当日は作品の共同制作を行っている。



### 学びが行動につながったポイント

- ① 次年度の資源回収に向けて生徒会で新聞紙や排紙などの回収・集積を行っている。
- ② うねめ太鼓を地域の文化祭や市の音楽学習発表会で意欲的に演奏することができた。
- ③ 障がいのある人への理解が深まり、文化祭等で地域に発信することができた。











持続可能な社会づくりを郡山市から！ 学びを行動につなげよう！

実践例 58

# SDGs を意識した生徒会活動

郡山市立喜久田中学校 生徒会

| 基本データ  | テーマ・活動のねらい 等  |
|--|---|
| 関連する SDGs の目標：<br>  <br>   | <b>【テーマ】</b><br>SDGs を意識した生徒会活動<br><b>【活動のねらい】</b><br>すべての奉仕委員会が、委員会の活動と SDGs を結びつけた取り組みを行うことで、生徒全員が SDGs への意識の向上を図るとともに、目標達成に向けて主体的に取り組むことで、生徒会活動の活性化を目指す。 |

## 取組・活動の概要

### 1 奉仕委員会の SDGs の取り組みの発表を行った。

生徒会本部役員の提案により、各奉仕委員会の活動で SDGs につながる取り組みを考え、全校集会で発表を行った。

その発表の内容は、表にして昇降口にある掲示板に貼りだし、全校生の意識の向上を図っている。



### 2 各奉仕委員会の活動について

**ボランティア委員会の取り組み**  
 途上国の子どもたちにワクチンを送るためにエコキャップ回収を行っている。回収についての掲示を行い、昇降口に回収箱を設置した。  
 1 月末現在で、45L ポリ袋に 6 袋集まった。



**給食委員会の取り組み**  
 フードロス削減を目指し、給食の残滓を減らす取り組みとして、週に 1 回残滓ゼロの日を設けて取り組んでいる。  
 その結果、12 月、1 月の残滓量はその前の月までの残滓量と比較すると、減少している。



### 3 学校全体の取り組みについて

生徒会活動以外に、教室や廊下、水道、印刷室の入り口等に SDGs のロゴや呼びかけを入れた掲示をしている。生徒だけではなく教職員へも取り組みへの意識の向上を図っている。



## 学びが行動につながったポイント

- ① 生徒会活動と SDGs とのつながりを考え、できることに取り組んでいる。
- ② 日常生活と SDGs とのつながりを意識した掲示を行っている。







## 実践例 59

持続可能な社会づくりを郡山市から！ 学びを行動につなげよう！

# ペーパーレスと再資源化

郡山市立熱海中学校 生徒会

| 基本データ   | テーマ・活動のねらい 等   |
|---|--|
| 関連する SDGs の目標：<br>  | <b>【テーマ】</b><br>ペーパーレスと再資源化<br><b>【活動のねらい】</b><br>生徒会活動を中心に、身近なところから資源の無駄遣いがないかを検証し、省資源化を図るとともに資源の有効活用の手だてを保護者や地域と連携して考え、実行する。 |

## 取組・活動の概要

### 1 生徒会活動のペーパーレス化。

生徒会活動では、総会や文化祭などで作成する資料や要項でたくさんの紙が使われていました。学校には1人1台のタブレット端末があり、資料や要項をデータで配信することができます。紙からデータに変えることにより、紙の省資源化と作業時間の短縮につなげることができました。



### 2 牛乳パック回収運動。【JRC委員会】



給食がある日は、毎日100本を超える牛乳が消費されています。牛乳パックを「ごみ」として廃棄するのではなく、資源として再利用できるよう、JRC委員会の呼びかけで牛乳パック回収運動を行っています。「牛乳パックを開いて洗う」は、全校生が取り組み、JRC委員会が週末に箱詰め・保管し、資源回収の際に資源として提供しています。

### 3 資源回収で活動資金を確保。

親子活動として、資源回収を年に1回行っています。地域の方々に協力をいただき、各家庭や事業所から古紙や段ボール等を回収します。回収した資源は、業者に買い取ってもらいます。また、郡山市から資源回収推進報奨金の交付を受けています。活動で得られた資金は、教育活動後援会資金として様々な生徒活動に活用されています。活動資金を自分たちで集めることだけでなく、ごみ減量や資源の有効利用について地域の方々にも伝えています。



## 学びが行動につながったポイント

- ① 毎日の小さな積み重ねが、持続可能な社会づくりに貢献していることに気づくことができた。
- ② SDGs に対する取り組みを、もっと学校生活の中に生かしたいと考えるようになった。







持続可能な社会づくりを郡山市から！ 学びを行動につなげよう！

実践例 60

# 生徒会活動による SDGs の実践

郡山市立守山中学校 生徒会執行部 ボランティア委員会

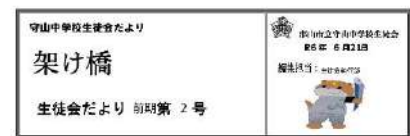
| 基本データ   | テーマ・活動のねらい 等  |
|---|---|
| 関連する SDGs の目標：<br><br>  | <b>【テーマ】</b><br>SDGs で育む「自律」と「共生」<br><br><b>【活動のねらい】</b><br>生徒会活動における生徒の自主的な取組により、SDGs への取組を活性化させるとともに、本校の教育目標である「自律」と「共生」の具現化を目指す。 |

## 取組・活動の概要

### 1 生徒会執行部による文房具バザーの実施。

生徒会執行部の呼びかけにより、使わなくなった文房具を生徒が生徒会室に持参し、他の文房具と交換する取組を行った。

数多くの文房具が集まり、必要な文房具を交換し合うことで、貴重な資源を無駄にすることなく使い切ることができた。



～文房具バザーのご案内～

今年度もSDGsの取り組みとして、生徒会で文房具バザーを行います。文房具バザーとは、使わなくなった文房具などを持ってきてその文房具と他の文房具を交換するものです。

1. 持ってきた文房具を各学年の学年委員長に渡します。学年委員長には名簿と封筒を渡しておきますので、文房具を持ってきた人の名前のあるところに持ってきた文房具の個数を書いてください。

2. 学級で集まった文房具は毎日、二時間目の休み時間には生徒会室に持ってくるようにしてください。

3. 交換できる文房具は生徒会室前に置いてあります。チケットと交換できる文房具を交換していきましょう。

募集期間 6月12日(水)～6月20日(木)  
 実施期間 6月25日(火)～7月5日(金)

・日には月日の昼休み、オレシマットで各学級委員長がくじ引きをして決定するので後日お知らせします。

場所 生徒会室前  
 西廊 昼休み

みなさんご協力をお願いします。

### 2 ボランティア委員会によるペットボトルキャップ集めの取組。

＜ペットボトルキャップ集め～世界の子どもたちへワクチンを～＞

ボランティア委員会の活動として、ペットボトルキャップ集めを年間活動計画に位置づけ、全校生徒への呼びかけ・回収・集計に取り組んだ。

「ふくしまキッズエコ運動事務局」と連携し、世界の子どもたちにワクチンを届ける活動に参加することができた。



### 学びが行動につながったポイント

- ① 身近な文房具を大事に使おうという意識が高まり、消費者としての責任について考えさせることができた。
- ② ペットボトルキャップ集めの活動を通して、社会福祉に進んで貢献しようとする態度を育むことができた。










## 実践例 61

持続可能な社会づくりを郡山市から！ 学びを行動につなげよう！

# ともに歩み、ともに育む学校を目指して

郡山市立高瀬中学校 全学年

| 基本データ   | テーマ・活動のねらい 等  |
|---|---|
| 関連する SDGs の目標：<br>   | <b>【テーマ】</b><br>ともに歩み、育むさまざまな活動<br><b>【活動のねらい】</b><br>「ともに歩み、ともに育む学校」を目指し、高瀬小中コミュニティスクールとして、地域の方々との連携を図りながらすすめていきます |

### 取組・活動の概要

#### 1 食育を推進しています

本校では、健康になる食事、望ましい栄養や食事のとり方についてSDGsの観点から学校給食を通じた食育を推進しています。生徒会保健委員会(給食部門)では、毎日、学級ごとの給食の残菜をタブレットで記録し、全校生に向けて配信することで、フードロスへの意識を高める取り組みを行っています。



#### 2 小中合同でボランティア活動を行いました

高瀬小中コミュニティスクールの活動です。学区内8か所に分散して小中合同でボランティア活動を行いました。



オンラインで小学生との事前の打ち合わせを行い、当日に臨みました。小中学生が町内会等の地域の方々のご協力のもと、清掃活動等に一生懸命取り組みました。

#### 3 職場体験学習での学び

高瀬小中コミュニティスクール地域学校協働活動の一環として、学校運営協議会の方々から地元の企業の方々をご紹介いただき、当日も事業所の方々より実際の作業や業務内容についてさまざまなことを教わるなど、普段の学校生活では学ぶことのできない大変有意義で貴重な体験活動を行うことができました。

※ 車載型精密機械の製造についての説明を真剣に聞いています →



#### 学びが行動につながったポイント

- ① 食に対する意識の変化が見られ、残菜や食べ残し量が減少しています
- ② 地域の方々に温かく見守られていることや、自分も地域のためにできることがあることに気づかされるなど、改めて地域とともに歩んでいることを実感している様子がうかがえます








持続可能な社会づくりを郡山市から！ 学びを行動につなげよう！

実践例 62

# Remake

郡山市立郡山第一中学校 部活動（家庭・手芸部）

| 基本データ  | テーマ・活動のねらい 等   |
|--|--|
| 関連する SDGs の目標：<br> <br> | <b>【テーマ】</b><br>Remake<br><b>【活動のねらい】</b><br>捨てればゴミとなるような使用済みの材料を再利用し、新しいものとしてリメイクする活動をとおして、ゴミを減らそうとする態度やものを大切にしようとする態度を育成するとともに、地域の環境保全に努めようとする人材を育成する。 |

## 取組・活動の概要

### 【Remake】

#### 1 不要となった衣類を選定し、素材等を調べる。

自宅等にある不要になった衣類を選定し、その素材や柄等を調べた。調べたことをもとに、どんなものにリメイクできそうかをについてインターネットで検索すると、さまざまなリメイク作品の実践が見つかった。自分に必要な（あるいは、自分が欲しい、作ってみたい）ものを考え、リメイク作品を決定した。



#### 2 リメイク作品を制作する。

もとの素材や柄、部品（ボタン、ポケット等）を生かしてリメイク作品の制作に取り組んだ。

#### 3 リメイクの価値を知る。

リメイク作品を制作することで、不要なものに必要なものに変えることができたと同時に、大切に用ってきたものをもっと長く大切に使うことができるようになった。ゴミが減り、環境にやさしいだけでなく、ものを大切にしようとするところにリメイクの価値があることを実感することができた。また、作品は校内文化祭において展示し、多くの方に見ていただくことで、リメイクの価値を伝えることができた。

### Before



### After



### 学びが行動につながったポイント

- ① 誰にでもリメイク作品を制作できることを発信することができた。
- ② ものを大切にしようとするところに価値があることを知ることができた。










# 実践例 63

持続可能な社会づくりを郡山市から！ 学びを行動につなげよう！

## もっと生徒会 day+SDGs でよりよい環境作り

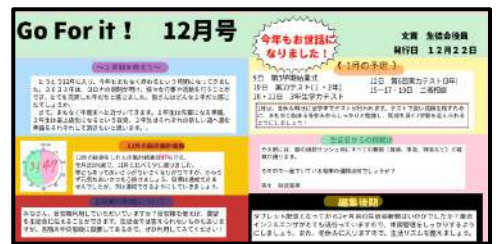
郡山市立郡山第二中学校 生徒会, 奉仕委員会

| 基本データ  | テーマ・活動のねらい 等   |
|--|--|
| 関連する SDGs の目標：<br>  <br>  | <b>【テーマ】</b><br>もっと生徒会 day+SDGs でよりよい環境作りを目指そう。<br><b>【活動のねらい】</b><br>生徒会執行部や委員会という小集団で話し合いを持つことで、SDGs に関する取り組みを自分事として捉えさせる。自分たちで取り組むべきことを考え、実行に移す力を育てる。 |

### 取組・活動の概要

#### 1 生徒会執行部の取組み

生徒会執行部では、毎月発行している生徒会新聞を、SDGs の観点から、これまでの紙媒体での配布ではなく、タブレットを活用し、デジタルでの配信とした。



#### 2 奉仕委員会の取組み

「もっと生徒会 day」という委員会活動に特に重点を置く日を設けるとともに、SDGs とリンクした取り組みを各委員会の中で位置づけ、実施している。定期的に行われる委員会の中で確認することで、全員が関わることができる活動とすることができた。また、前期生徒総会で提案し、後期生徒総会で反省、次年度へ向けた改善を行うことで、持続可能な活動となっている。

**<給食委員会>**

活動の反省  
仕事を忘れ残り、残った仕事を行うことが、少くしかりと活動を行うことができた。  
これからは、これまで通りにしっかりと活動を行い、できるだけ残飯を減らす。

**<SDGsとリンクした取り組み>**

委員会として取り組んだ具体的な活動  
・残飯確認  
・他クラスへあまりものを分ける

生徒総会要項から

|   |  |
|---|--|
| <b>&lt;SDGsとリンクした取り組み&gt;</b><br><b>週番委員会</b><br>取り組み目標 委員会として取り組んだ具体的な活動<br>朝のあいさつ運動<br>活動の反省<br>各班の順番で仲間同士助け合い、平日からのあいさつを心がけ、よりよい学校生活を送れた。  | <b>&lt;SDGsとリンクした取り組み&gt;</b><br><b>保健委員会</b><br>取り組み目標 委員会として取り組んだ具体的な活動<br>・冬休みの寒気、加湿器の管理<br>・生活習慣調査<br>活動の反省<br>保健委員としての自覚が足りない人が居たので、声をかけ合って仕事を忘れずに行えるようにしていきたい。 |
| <b>&lt;SDGsとリンクした取り組み&gt;</b><br><b>放送委員会</b><br>取り組み目標 委員会として取り組んだ具体的な活動<br>・昨年度も行ったように、もっと生徒会day企画でSDGsについてクイズを作り放送したりしていく<br>活動の反省<br>・SDGsについて関心を持ってもらえるような、内容を考える                      | <b>&lt;SDGsとリンクした取り組み&gt;</b><br><b>給食委員会</b><br>取り組み目標 委員会として取り組んだ具体的な活動<br>・残飯確認<br>・他クラスへあまりものを分ける<br>活動の反省<br>これまでよりも積極的に活動を行い、できるだけ残飯を減らす。                      |
| <b>&lt;SDGsとリンクした取り組み&gt;</b><br><b>図書委員会</b><br>取り組み目標 委員会として取り組んだ具体的な活動<br>・学級文庫作成<br>・LET'S READ作成<br>・今日のおすすめの本紹介<br>活動の反省<br>全校生が本に興味をもてるような活動をすることができた。来年は、より面白い企画を提案し、読書に対する関心を高めたい。 | <b>&lt;SDGsとリンクした取り組み&gt;</b><br><b>環境委員会</b><br>取り組み目標 委員会として取り組んだ具体的な活動<br>学校を前面に保ち、知難しや環境を作った。<br>活動の反省<br>ロッカーなど、もっと綺麗に出来る部分があったから、色々な部分に力を入れていきたい。              |
| <b>&lt;SDGsとリンクした取り組み&gt;</b><br><b>体育委員会</b><br>取り組み目標 委員会として取り組んだ具体的な活動<br>石匠陣除<br>体育祭の番長陣除や応援。<br>活動の反省<br>みんなの責任を持って応援出来るように、応援の準備や練習をしっかりと行いたい。  | <b>&lt;SDGsとリンクした取り組み&gt;</b><br><b>JRC委員会</b><br>取り組み目標 委員会として取り組んだ具体的な活動<br>赤い羽根共同募金活動<br>活動の反省<br>呼びかけを行い、集めることができた。次回はもっと興味を引く呼びかけをしたい。                          |

### 学びが行動につながったポイント

- ① 学校で実践できる SDGs について、自分事として話し合い、考えることができた。
- ② 全校生徒に周知する場を設けることで、全員で取り組む雰囲気や醸成することができた。







持続可能な社会づくりを郡山市から！ 学びを行動につなげよう！

実践例 64

# ゴミ排出量 中核市ワースト1を脱出せよ

郡山市立郡山第三中学校 学校教育活動全体を通じた取組

| 基本データ   | テーマ・活動のねらい 等   |
|---|--|
| 関連する SDGs の目標：<br><br>  | <b>【テーマ】</b><br>ゴミ排出量 中核市ワースト1を脱出せよ<br><br><b>【活動のねらい】</b><br>一人一日あたりのゴミ排出量中核市ワースト1位である現状を理解させると共に、学校の教育活動全体を通して、課題解決に向けた取組の実践を通して、誰一人取り残されない持続可能な社会の創り手を育成することを目的とする。 |

## 取組・活動の概要

### 1 ゴミ排出量の現状理解

本市のゴミ排出量についての課題を把握するために、1 学年生徒を対象に、郡山市 5R 推進課の職員を講師に招き、ごみ減量、食品ロス、リサイクル、及び環境美化に関する郡山市の取組について出前講座を行い、郡山市の一人一日あたりのゴミ排出量は、中核市 62 市の中でワースト 1 位（2020 年度）であり、ゴミの減量を考えていくことが急務であることを理解した。



【出前講座】

### 2 服のチカラプロジェクトへの取組



【回収した服の仕分け作業】

ファーストリテイリングより講師を派遣していただき、「服のチカラプロジェクトの意義について理解することができた。今回の取組を通して、生徒が身近な「服」を通じて、グローバル規模の社会問題（難民問題等）に関心を持つきっかけを作り、服の回収を通して、「自分にもできる社会貢献があるのでは」と気づく活動となった。

### 3 生徒会活動を核としたゴミ問題への取組

毎月 1 回「残滓ゼロの日」を設定し、健康な体を作ると共に、食品ロスに貢献することを目的として活動している。この日は特に、配膳の際に、個人の食べられる量を配膳し、残さず食べることができるよう意識した活動が展開されている。苦手な食材の場合でも、一口は食べるよう努力することで、食品ロス（飢餓に苦しむ国々の理解とゴミ減量化）に貢献しているという実感を伴っている。



【空の食缶と給食当番】

### 学びが行動につながったポイント

- ① 身近なゴミ問題の解決が、国際貢献に寄与していることを実感できた。
- ② 外部団体、保護者をはじめとするステークホルダーを巻き込んで実践できた。







持続可能な社会づくりを郡山市から！ 学びを行動につなげよう！

実践例 65

## 生徒会活動で SDGs に取り組もう！

郡山市立郡山第四中学校 全学年 特別活動

| 基本データ   | テーマ・活動のねらい 等  |
|---|---|
| 関連する SDGs の目標：<br>  | <b>【テーマ】</b><br>中学生でも取り組むことができる SDGs を実践しよう。<br><b>【活動のねらい】</b><br>各学年が SDGs について、総合的な学習の時間等を活用して学習してきた。そこで、今年度は生徒自身が自ら考えながら、自分たちが実際に取り組むことができることを生徒会活動として実践する。 |

### 取組・活動の概要

#### 1 生徒会活動で自分たちが実践できる SDGs に取り組む。

今年度の生徒会では、自分たちが実際にできる SDGs の取り組みについて、各委員会等で話し合いを行いました。昨年度から継続している生徒会本部が推進している節電以外に、給食委員会が推進する残食ゼロ運動についても、全校生で取り組みました。

#### 2 学校で使用する水を節約する取組(生徒会本部等)

生徒会本部では、11月の全校集会で、学校で使用する水を節約することを全校生に呼びかけました。水を節約することの重要性をプレゼンテーションし、具体的な実践例を挙げて節水案を発表しました。

#### 3 給食の残食をゼロにする取組(給食委員会)

SDGs の目標に「つくる責任 つかう責任」という項目があります。この目標には11項目の具体的なターゲットが設定されています。世界の貧困地域で飢餓が発生している一方で、先進国では食べられる食品が大量に廃棄されているという現状を解消するために、私たちも食品ロスを自分ごとと捉えて行動する必要があります。

給食の食べ残しが発生する理由としては、主に、「給食に嫌いなものがあるから」、「給食の喫食時間が短いため」、「給食の量が多いから」があります。そこで、本校の食への意識を高め、給食の食べ残しを減らすために、3つの取り組みを行いました。

##### 【食べ残しの削減（リデュース）】

- 1 給食委員会による残食量調査
- 2 給食委員会が放送で残食を減らすことを呼びかける。

##### 【啓発活動（食品ロスを知る）】

- 3 給食委員会によるポスター作りと掲示

また、本校では家庭と連携して食育に取り組んでいます。日頃の給食指導で実践できることを見つけ、食育だよりなどで家庭での実践を呼びかけました。

### 学びが行動につながったポイント

- ① 生徒が実践した内容を、全校集会等で発表することができた。
- ② SDGs について学習してきたことを自分事として捉えることができた。







持続可能な社会づくりを郡山市から！ 学びを行動につなげよう！

実践例 66

## 体験活動を通して SDGs の理解を深める

郡山市立郡山第五中学校 第1学年 総合的な学習の時間

| 基本データ   | テーマ・活動のねらい 等  |
|---|---|
| 関連する SDGs の目標：<br>  | <b>【テーマ】</b><br>体験活動を通して SDGs の理解を深める<br><b>【活動のねらい】</b><br>SDGs の基本理念を学び、直接的な体験活動を通して理解を深めることで、様々な事象を自分事として考える態度を育成する。 |

### 取組・活動の概要

#### 1 SDGs 出前講座

市政きらめき出前講座および株式会社セブンイレブン・ジャパンによる『SDGs ってなに?』の講座を受講した。SDGs の基本や、これから取り組むべき課題を学習した。

持続可能な社会の実現のために自分達は何が出来るのかを考え、理解を深めることができた。



#### 2 自然体験学習・芋煮会



四季の里緑水苑において自然体験学習を行った。現地で散策やレクリエーションを行う中で自然を感じ、目標 13「気候変動に具体的な対策を」などに関連付けながら、体験的に学んだ。生徒が枯れ葉で遊ぶ姿は震災やコロナ禍以降、ほとんど見られなかったものであり、直接的な体験活動の重要性を改めて感じた。

活動後には芋煮会を実施し、目標 12「つくる責任 つかう責任」について、食品ロスと関連付けながら考えさせた。

#### 3 活動の振り返り

学習のまとめを行い、SDGs に対して自分事として考える態度を育成した。自然体験から自然の美しさや自然を守る大切さについて記述されていた。また、芋煮会から食品ロスについて言及している記述が多くみられた。

活動の様子は学校ホームページ等で発信した。

緑水苑の自然も感じ、自然を守るため、お後片付けもできたので、行く前よりもきれいにする、この目標も達成できたなと思いました。

この反省は、食べ物を落としてしまったことです。食品ロスをしないように心がけていきたいです。

### 学びが行動につながったポイント

- ① 体験活動を通して、SDGs への理解を深めることができた。
- ② 体験活動を通して、様々な事象を自分事として考える態度を育成することができた。





持続可能な社会づくりを郡山市から！ 学びを行動につなげよう！

実践例 67

# 郡山六中 SDGs 宣言

郡山市立郡山第六中学校 委員会活動

| 基本データ  | テーマ・活動のねらい 等 |  |  |  |  |  |  |  |  |
|--|--------------|--|--|--|--|--|--|--|--|
| 関連する SDGs の目標： <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> |              |  |  |  |  |  |  |  | <b>【テーマ】</b><br>郡山六中のみんなで SDGs に取り組もう！<br><b>【活動のねらい】</b><br>生徒会・委員会活動において、学校全体の課題発見・解決をする中で、SDGs との関連を見いだし 17 の目標を学校全体で達成しようとする態度を養う。 |
|  |              |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |              |  |  |  |  |  |  |  |  |

## 取組・活動の概要

### 1 常任委員会・生徒会総会にて計画を提案する。

年度初めの委員会にて活動計画を作成した。その際に、委員会の活動と関連付けながら、それぞれの委員会で達成を目指す SDGs の目標を決め、生徒会総会にて提案した。

|   |   |  |  |
|---|---|--|--|
| <b>JRC 常任委員会</b><br>世界中の困っている人を助けるため、募金やエコキャップ集めに協力しよう。<br> | <b>保健常任委員会</b><br>健康と命を守るために呼びかけをしよう。<br>         | <b>学習常任委員会</b><br>2分前着席を呼びかけて、質の高い学習環境を作ろう。<br>      | <b>中央委員会</b><br>2分前着席を呼びかけ、諸行事の運営など、積極的に行動しよう。<br>   |
| <b>給食常任委員会</b><br>残さず食べよう！年間一人あたりの給食を残した量「15.5kg」を減らそう。<br> | <b>生活常任委員会</b><br>季節にあった服装をし、冷暖房器具の設定温度を見直そう。<br> | <b>整美常任委員会</b><br>「捨てればゴミ！！」を見直して 3R を積極的に推進しよう。<br> | <b>生徒会本部</b><br>学校生活の中でできる SDGs について生徒会新聞で紹介しよう。<br> |

### 2 常時活動にて計画を実行する。

#### 例：JRC 委員会

家庭に呼びかけ、外での活動や集まったの行動をせずに可能なりサイクル運動に取り組んだ。

・プルタブの回収 ・エコキャップの回収

1 階昇降口にプルタブとエコキャップの収集場所を定め、定期的に回収してきた。



### 3 常任委員会にて活動の振り返り・改善をする。

常時活動について振り返り、今後の活動の改善点や引き継ぎ事項、課題解決に向けた発案を行っている。

#### 学びが行動につながったポイント

- ① 学校生活における課題がSDGsと関連していることを実感し、生徒にとって身近な問題と感ずることができた。
- ② 活動を通して新たな課題を見いだし、解決に向けて活動を改善しようとする態度が養われた。






持続可能な社会づくりを郡山市から！ 学びを行動につなげよう！

実践例 68

## 集団から個人へ無理のない取り組み

郡山市立郡山第七中学校 第1～3学年

| 基本データ   | テーマ・活動のねらい 等  |
|---|---|
| 関連する SDGs の目標：<br> | <b>【テーマ】</b><br>集団から個人へ無理のない取り組み<br><b>【活動のねらい】</b><br>持続可能な社会づくりを目指して積極的に行動できる自立した生徒の育成を目指す。 |

### 取組・活動の概要

#### 1 各教科の授業で SDGs に関連した学習を行う

各教科の授業で SDGs に関する基礎的な知識を定着させる。  
 英語科では学習した題材と関連付けられる SDGs の項目を班ごとに検討した。



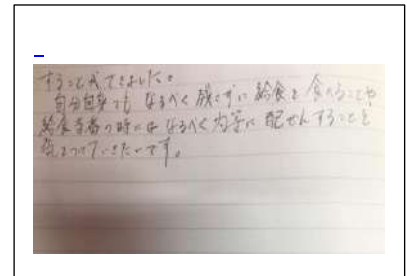
#### 2 各専門委員会で活動に取り組む



郡山七中では月に1回ほど開かれる専門委員会で、各専門委員会が SDGs に関連したどのような取り組みをすることができるか話し合っている。今年度からは昨年度までの取り組みに加え新たに、生活委員で節水・節電を呼びかけるポスターを作成したり、JRC 委員で校舎周辺の清掃を行ったりするようになった。

#### 3 集団としての取り組みから個人での取り組みへつなげていく

各委員会での取り組みを通して、個人としてはどんなことができるのか生徒に考えさせる。例えば、給食委員会に所属する生徒は委員会での取り組みを通して、個人的にも残さず食べることや均等な配膳を心がけるようになったという声があった。



### 学びが行動につながったポイント

- ① 全校生徒が所属する各専門委員会での活動によって、一人一人が持続可能な社会づくりについて意識することができた。
- ② 学校での取り組みを家庭や友人に共有しようとする生徒がみられた。









持続可能な社会づくりを郡山市から！ 学びを行動につなげよう！

実践例 69

持続可能な社会の実現に向けて ~身近なところからできること~

郡山市立緑ヶ丘中学校 生徒会本部, 専門委員会, 全校生

| 基本データ   | テーマ・活動のねらい 等  |
|---|---|
| 関連する SDGs の目標：<br>  | <b>【テーマ】</b><br>持続可能な社会の実現に向けて<br>~身近なところからできること~<br><b>【活動のねらい】</b><br>持続可能な社会の実現に向けて、私たちが学校生活を通して身近に取り組めるところから活動を継続していくことが重要と考えた。 |

取組・活動の概要

1 不要紙回収活動



昨年度からスタートした生徒会本部が推進している活動。学級に配付されたプリントのうち余分なものや再利用可能なものを回収かご（仮置き）で回収する。ただし、個人情報漏洩防止の観点から、回収したものをすべてリサイクルするのではなく、学級の係が一枚一枚確認してから回収することとしている。

2 エコキャップの回収

これまでも生徒会本部の活動として代々受け継いできた活動である。朝の挨拶運動での呼びかけも含め、機会あるごとに呼びかけを行い、業者に引き渡した際はその回収結果を校内放送等により全校生に周知している。緑中のマスコットキャラクター「みどりん」も回収ボックスとして活躍している。



3 給食の食べ残し削減に向けた取り組み



本校は、これまで残滓率の高さが課題の一つとなっていた。生徒会本部や給食委員会(専門委員会)などでその対策を話し合い、食べ残しがなかった学級を称賛し、それを見える化する活動を行うこととなった。毎日の給食で、主食・主菜・副菜・汁物それぞれで食べ残しがなかったものにシールを貼りグラフ化した。また、昼の放送で関連する内容の放送を行い、できるだけ食べ残しを減らすよう呼びかけを行っている。



学びが行動につながったポイント

- ① それぞれの対策を生徒自身が考えたことで、活動に主体性が生まれ継続できている。
- ② 生徒会本部や各専門委員会の活動の柱の一つとなっており、振り返ることで改めて活動の意義を感じ、活動のモチベーションが高まっている。






## 実践例 70

持続可能な社会づくりを郡山市から！ 学びを行動につなげよう！

# 「持続可能」な生徒会活動

郡山市立富田中学校 生徒会活動

| 基本データ   | テーマ・活動のねらい 等  |
|---|---|
| 関連する SDGs の目標：<br> | <b>【テーマ】</b><br>「持続可能」な生徒会活動<br><b>【活動のねらい】</b><br>SDGs の視点を取り入れた「持続可能」な生徒会活動を推進し、環境配慮行動の意識を高めるとともに他者を尊重できる自立した生徒を育成する。 |

## 取組・活動の概要

### 1 生徒会本部及び専門委員会の取組

#### (1) 生徒会本部

- ・タブレットを活用して生徒会総会要項及び生徒会広報誌のペーパーレス化を実現した。
- ・専門委員会の SDGs への取り組みや月別活動重点事項を掲示し、全校生に周知した。
- ・登下校時の負担軽減と事故防止、自己マネジメント力育成を目的とした「ポジスタ」を実現した。

※「ポジスタ (ポジティブスタディ)」

「学校に置いて帰る学用品 (置き勉)」から「家庭学習のために持ち帰る学用品」と捉え直し、ルールを決めて教科書等を学校で保管する取組

- ・教室内での「ひざ掛け」利用を推奨し、過度な暖房使用を抑制した。

#### (2) 福祉委員会

- ・支援学校との交流学习を実施した。
- ・各種募金活動や書き損じはがきの回収を行った。

#### (3) 給食委員会

- ・給食の残量を全校生に周知するとともに、各クラスの食品ロス削減の取り組みを紹介した。
- ・完食の呼びかけや朝食の見直しを図るポスターを掲示し、食品ロス削減の意識啓発を促した。

#### (4) 環境美化委員会・保健委員会

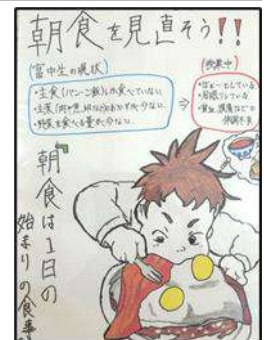
- ・節水・節電を呼びかけるポスターを掲示するとともに、清掃時には、バケツの水量を減らすよう呼びかけ、節水に対する意識を喚起した。

#### (5) 学習委員会

- ・各教室及び印刷室に使用済み用紙の回収ボックスを設置し、裏面活用を推進した。

#### (6) 図書委員会

- ・SDGs に関連する本の紹介を行い、環境問題等に対する意識啓発を促した。



### 2 活動の振り返り

生徒会総会において、委員会ごとに SDGs の視点をふまえた振り返りを行った。

#### 学びが行動につながったポイント

- ① 生徒会活動を持続可能なものにしていくための手立てを考えることができた。
- ② 一人ひとりが SDGs を自分事として考えることができた。










## 実践例 71

持続可能な社会づくりを郡山市から！ 学びを行動につなげよう！

# アフリカの現状を知り、できることを考えよう

郡山市立大槻中学校 第1学年 総合的な学習の時間

| 基本データ  | テーマ・活動のねらい 等   |
|--|--|
| 関連する SDGs の目標：<br>  <br>  | <b>【テーマ】</b><br>アフリカの現状を知り、できることを考えよう<br><b>【活動のねらい】</b><br>ESD に基づく活動をより有意義な取り組みにするためにアフリカとアフリカへの支援の現状をしり、SDGs の観点で支援のあり方を考えるきっかけとする。 |

### 取組・活動の概要

#### 1 SDGs の概要を SDGs 紹介動画を視聴して、つかみ取った。

SDGs がサステナブルディベロップメントゴールズの略称であることをつかみ、日本語で言うと、「持続可能な開発目標」で 17 の目標と 169 のターゲットで構成されているということをしり、また、2015 年に国連サミットにて全会一致で定められ、2030 年までの実現をめざした目標であることを確認した。

#### 2 アフリカの水事情と安全な水を手に入れるための支援のあり方。

上記に関する動画を視聴し、どれだけの人が安全な水にアクセスできているのかというアフリカの現状を知る。井戸を設置する支援を行えば、すべて解決すると思いがちだが、実際は水の料金回収がうまくいかず、井戸が壊れてしまうと直すことができず、壊れたまま放置されるのが現状である。

この現状を打破するために日本人が運営する支援団体が「井戸に IC タグ入れるとスマートフォンで購入した水量だけ水が出てくる仕組み」を作ったので、井戸が壊れたとしても直すことができるようになった事例を学んだ。

#### 3 アフリカを代表とされる地域への望ましい寄付のあり方。

上記に関する動画を視聴し、余った衣服や食料の寄付がどれだけアフリカの発展を妨げているのかを考える機会となった。特に以下の 3 つの寄付について、考えることとなった。①輸送に関するコストを考慮してない寄付②現地のニーズや状況を無視した寄付③現地の自立をさまたげる寄付。例えば、寄付で届けられた衣類は、多すぎて現地で燃やされていることや、1 円～5 円と破格の値段で取引されるため、現地の繊維産業は壊滅状態になっていることなど。「寄付＝いいこと」という安易な考えが揺さぶられたことは間違いない。

#### 4 アフリカの砂漠を緑化している日本人の取り組みを紹介。

上記に関する動画を視聴し、ニジェールで起こった奇跡について考えた。京都大学の大山教授によるニジェールが抱えるさまざまな問題をすべて一度に解決しうる取り組みがどのようにして起こったのかを学んだ。人口が爆増し、都市のゴミ問題や砂漠化が広がり住める土地の減少、農耕民と牧畜民の争いも絶えなかった状況を「砂漠に都市のゴミをまく」という方法で見事砂漠を緑化することで、すべての問題を解決の方向に向かっていった。

### 学びが行動につながったポイント

- ① 行動に結びついたものはないが、SDGs の目標は、地球規模で考える視点が重要であることを示唆できた。
- ② まずは SDGs に関連するさまざまな問題を知ることが重要なので、まずは知ること重点を置いた。






持続可能な社会づくりを郡山市から！ 学びを行動につなげよう！

実践例 72

# SDGs 学級宣言をつくって活動しよう

郡山市立小原田中学校 第1学年 総合的な学習の時間

| 基本データ   | テーマ・活動のねらい 等  |
|---|---|
| 関連する SDGs の目標：<br><br> | <b>【テーマ】</b><br>SDGs を学び、クラスの SDGs 宣言をつくろう<br><br><b>【活動のねらい】</b><br>SDGs の 17 のゴールについて学び、クラスごとにどんな取り組みをしていくか話し合った。教室前の廊下に掲示してお互いに見合うことで、各学級で目標が達成できるように実践的な活動につなげていった。 |

## 取組・活動の概要

### 1 SDGs 学級宣言をつくる。

総合的な学習の時間に、SDGs の 17 の目標について一人ひとりが関心を持ったものを調べ、生活班で話し合い、調べたことを共有した。班での話し合いの成果をもとに、クラスで話し合っ自分たちにできる目標を5つにまとめた。

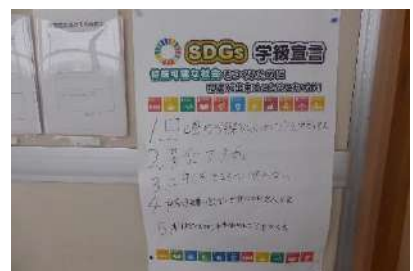
各クラスでまとめたものを、「SDGs 学級宣言」としてまとめ、教室前廊下に掲示した。

### 2 SDGs 学級宣言に即した活動に取り組む。

各学級で目標に挙げたことを、具体的な活動として取り組んでいった。

ゴール 12「つくる責任 つかう責任」から「食べ残しをしない」という宣言を立てた学級では給食の残菜を減らすようにしたり、家庭科の調理実習で再確認したりしていた。

ゴール 16「平和と公正をすべての人に」から「募金をする」とした学級では、JRC 委員会の募金活動やエコキャップ回収運動、清掃委員会の資源回収に積極的に協力した。



## 学びが行動につながったポイント

- ① 学級宣言を立てたことで、授業や普段の生活でも SDGs との関連を意識できた。
- ② 委員会活動の工夫や積極的な参加など、学校生活全体で自分事として取り組んだ。




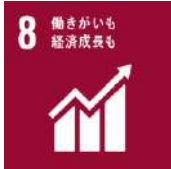


持続可能な社会づくりを郡山市から！ 学びを行動につなげよう！

実践例 73

## 持続可能なマチ作りを考えよう

郡山市立宮城中学校 全学年 総合的な学習の時間

| 基本データ   | テーマ・活動のねらい 等  |
|---|---|
| 関連する SDGs の目標：<br>  | <b>【テーマ】</b><br>持続可能なマチ作りを考えよう。<br><b>【活動のねらい】</b><br>SDGs の概念を理解し、私たちの生活や仕事の近くに潜む社会課題を実感し、よりよい未来に向けて1人1人がアクションを起こすことの大切さを自覚する。 |

### 取組・活動の概要

#### 1 広い視野で考え、行動する意識を持って実践力を身につけよう。

損保ジャパンが開発した SDGs 推進ツール（ゲーム）を用いて、仮想のマチ「宮城タウン」作りに取り組んだ。

学年の枠を取り払い、全校を七つの班に分け、それぞれの目標を設けて、カードに書かれた「経済系」「環境系」「社会系」のプロジェクトを進めた。進めていく中で、経済の発展と引き換えに環境問題や社会課題が発生したり、環境問題のみを重視すると経済が発展せず、別の社会問題が発生したりするなど、一つの観点だけでは持続可能なマチ作りをすることはできないことを学んだ。生徒たちは問題や課題を解決するために意見を交わし、持続可能なバランスの取れたマチ実現に知恵を絞っていた。



最後に「The Action！ My SDGs 宣言」として、今自分ができることを発表した。

#### 2 地元の文化を伝承する。



海老根和紙保存会より講師をお招きし、毎年コウゾの栽培と収穫に全校で取り組んでいる。また、収穫したコウゾで1年生が総合的な学習で和紙づくりの体験を行っている。さらに、海老根和紙を用いた地域のイベント「秋蛸」にも全校で参加し、地域の文化を伝承することに貢献している。

地域社会の文化を伝承することもSDGsにつながることを、改めて意識することができた。

### 学びが行動につながったポイント

- ① SDGs についてゲームを通して学ぶことで実際に体感、理解し、自分事として捉えることができた。
- ② 毎年参加している地域イベントも、SDGs につなげて考えることができた。







持続可能な社会づくりを郡山市から！ 学びを行動につなげよう！

実践例 74

# 未来へつなぐ，私たちの小さな一歩

郡山市立御館中学校 第1学年～第3学年（全校生） 生徒会活動

| 基本データ   | テーマ・活動のねらい 等   |
|---|--|
| 関連する SDGs の目標：<br>  | <b>【テーマ】</b><br>未来へつなぐ，私たちの小さな一歩<br><b>【活動のねらい】</b><br>1. 身近な資源回収活動を通して，環境保護の重要性を実感する。<br>2. SDGs に関する知識を深め，持続可能な社会について主体的に考える態度を育む。<br>3. 「自分の行動が社会を変える力になる」ことへの気づきを促す。 |

## 取組・活動の概要

### 1 生徒会本部によるエコキャップ回収

生徒会本部が各学年の教室に回収箱を設置して，ペットボトルのキャップを回収している。回収したキャップは業者に引き渡し，さまざまな用途に有効活用されている。新生徒会でも活動を継続して行い，これまでよりも回収量が多くなるように呼びかけをしていきたい。

|      |          |       |
|------|----------|-------|
| 活動実績 | 令和5年度    | 9.9kg |
|      | 令和6年度1学期 | 3.1kg |



### 2 学芸委員会による古紙回収



学芸委員会では，捨ててしまえば『ゴミ』になるものを，『資源』として活用するという SDGs の意識を高めることを目的として，利用できない捨てられる紙類等を集め，資源ゴミに出す活動を行っている。紙類のリサイクルで，廃棄物として処理される紙の量を削減し，廃棄物減量化に貢献しています。しかし，まだ集める量が少ないので，回収量を増やすためにポスターを作成する等，工夫が必要と考えている。

### 3 広報委員会による SDGs クイズ

広報委員会では，お昼の放送で SDGs に関する問題を出題している。この活動を通して給食を残さないで食べることの大切さ等考えることにつながっている。今後は問題の種類を増やす等，生徒がさらに SDGs についての理解を深めることにつながるよう努力したい。



## 学びが行動につながったポイント

- ① 資源の循環や環境保全の意義を学び，自分事として捉えることができた。
- ② リサイクルについて学び，古紙を「捨てる」から「集める」に日常の行動が変わった。







持続可能な社会づくりを郡山市から！ 学びを行動につなげよう！

# ふるさと西田町，環境守り隊出動！

郡山市立西田学園 第4学年 社会科・総合的な学習の時間

| 基本データ   | テーマ・活動のねらい 等   |
|---|--|
| 関連する SDGs の目標：<br>  | <b>【テーマ】</b><br>「ふるさと西田町，環境守り隊出動！」<br><b>【活動のねらい】</b><br>学校の周りの環境は田畑や小川を有し，一見自然豊かではあるが，その保全には様々な努力が必要である。そこで，ふるさと西田町の現状と課題を知り，その改善や保全のためにできることを考え，行動しようとする心の涵養を図る。 |

### 取組・活動の概要

#### 1 ホタルが生息する環境は，どのような環境なのかな？

郡山南川ホタル愛光会の皆様をお招きし，ホタルの生態や生息環境について学んだ。実際に愛光会の皆様が幼虫を持参して来校されたので，子ども達は手で触れながら観察することができた。

さらに，保護者の皆様の協力を得て，地域の方も含めて 150 名を超える参加者で，夜のホタル観察会も開催された。



#### 2 身近な川には，どのような生き物が生息しているのかな？

県中農林事務所とアクアマリンふくしまのご協力で，学区を流れる天神川の生きもの調査を行った。水生生物の調査結果から川の水質を知り，身近な環境を守りたいという意欲が高まった。ホタルの餌であるカワニナの生息数が増え過ぎると逆に水質汚染につながるなど，バランスのとれた生息数の大切さを教わった。

#### 3 ゴミを減らすには，どのようにしたらよいのかな？

一般社団法人プラットふくしまのご協力で，ペッパー君による環境学習を行った。郡山市は一人一日あたりのゴミ排出量が中核市で3年連続ワースト1位であることから，その改善策をみんなで考え，ペッパー君と一緒にまとめることができた。

その後，実際に郷土を学ぶ体験学習で富久山3Rセンターを見学して理解を深めた。さらに，学びの成果を学園祭のワークショップで保護者に発表して，自分たちにもできる3Rなど，学校や家庭で取り組むことができるゴミ



軽減策を提案した。

### 学びが行動につながったポイント

- ① 専門家を招聘し，体験を伴った探究活動に取り組んだこと。
- ② 学習内容を地域や保護者に発信し，児童に寄り添って一緒に活動いただいたこと。







持続可能な社会づくりを郡山市から！ 学びを行動につなげよう！

実践例 76

## 猪苗代湖を守ろう！エコクラブ活動

郡山市立湖南小中学校 第4学年 総合的な学習の時間

| 基本データ   | テーマ・活動のねらい 等   |
|---|--|
| 関連する SDGs の目標：<br><br>  | <b>【テーマ】</b><br>すばらしい猪苗代湖の水環境を守るために「わたしたちができること」<br><br><b>【活動のねらい】</b><br>湖南町の川や沼、猪苗代湖について、水質や水生生物の調査、保全活動などを通して、水環境に対する興味・関心を高め、水環境を守るための実践力を身につけることができる。この活動を通し、ふるさと湖南を愛する心豊かな児童を育てる。 |

### 取組・活動の概要

#### 1 有機物は水にどのような影響を与えるのかの実験

ビーカー内の水の中に様々な有機物を入れて、時間の経過とともにどのように変化するかを調べた。数日経つと水は濁ったり臭くなったりし、有機物は粉々になるなど、有機物が水環境に与える悪影響について理解を深めた。



#### 2 アクアマリンいなわしろカワセミ水族館、湖南情感センターの見学



アクアマリンいなわしろカワセミ水族館で、猪苗代湖に棲む様々な水生生物（在来種や外来種）の見学を行った。また、湖南浄化センターでは、猪苗代湖の水をきれいにする仕組みについて学習し、猪苗代湖保全のためには、自分たちの生活を見直していく必要があることを学んだ。

#### 3 鬼沼生物調査及び猪苗代湖各浜の水質調査

青松浜近くの水生生物群生地鬼沼の生物調査に行き、水の中に入り網を使って様々な生物を捕まえた。カラス貝やスジエビ、ヤゴなどが多く生息していることが分かった。猪苗代湖での水質調査では、白鳥浜、上戸浜、湖南港、鬼沼、青松浜の5カ所でパックテスト（COD・リン酸）を使って水質調査を行った。透視度計を使って透視度も調べた。この活動を通して、水辺のすこやかさ指標をもとに、水辺の環境を比べると、湖南港が最も水環境が良くなっており、白鳥浜と上戸浜の水環境が良くない結果となった。水のきれいさと生物の棲みやすさには違いがあることに気がついた。



### 学びが行動につながったポイント

- ① 有機物の結果から、食べ物を残したり、残菜を流したりしない。
- ② 猪苗代湖に生息する生物の環境を守るため、ゴミのポイ捨てをしない。

